2024年度

サレジオ工業高等専門学校

情報公開

（3. 財務情報）

2024年9月現在

（1）前年度の収支計算書

法人名: 育 英 学 院

資 金 収 支 計 算 書

令和5年　4月　1日から
令和6年　3月　31日まで

＜総括表＞　　（単位 円）

収入の部

科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
学生生徒等納付金収入	1,097,439,110	1,097,628,529	▲ 189,419
手数料収入	11,268,000	10,897,650	370,350
寄付金収入	17,235,000	16,876,397	358,603
補助金収入	420,853,695	426,080,052	▲ 5,226,357
国庫補助金収入	131,688,000	130,311,512	1,376,488
地方公共団体補助金収入	289,165,695	295,768,540	▲ 6,602,845
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	53,653,000	55,305,542	▲ 1,652,542
受取利息・配当金収入	59,785	64,156	▲ 4,371
雑収入	44,416,334	44,928,207	▲ 511,873
借入金等収入	400,000	400,000	0
前受金収入	66,440,000	67,320,000	▲ 880,000
その他の収入	76,314,978	75,983,800	331,178
資金収入調整勘定	▲ 97,680,505	▲ 111,945,440	14,264,935
前年度繰越支払資金	1,598,641,425	1,598,641,425	0
収入の部合計	3,289,040,822	3,282,180,318	6,860,504

支出の部

科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
人件費支出	1,148,526,955	1,148,041,297	485,658
教育研究経費支出	344,052,411	329,590,156	14,462,255
管理経費支出	113,111,979	110,603,852	2,508,127
借入金等利息支出	1,715,000	1,715,498	▲ 498
借入金等返済支出	27,859,000	27,859,000	0
施設関係支出	887,000	886,600	400
設備関係支出	42,876,409	42,448,190	428,219
資産運用支出	21,521,000	21,523,579	▲ 2,579
その他の支出	62,523,618	50,164,927	12,358,691
〔予備費〕	(21,327,000) 22,673,000		22,673,000
資金支出調整勘定	▲ 27,702,009	▲ 33,791,312	6,089,303
翌年度繰越支払資金	1,530,996,459	1,583,138,531	▲ 52,142,072
支出の部合計	3,289,040,822	3,282,180,318	6,860,504

法人名　育 英 学 院

活 動 区 分 資 金 収 支 計 算 書

令和5年　4月　1日から
令和6年　3月　31日まで

＜総括表＞　　（単位 円）

	科目		金額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	1,097,628,529
		手数料収入	10,897,650
		経常費等補助金収入	425,629,052
		教育活動資金収入計	1,651,215,377
	支出	人件費支出	1,148,041,297
		教育研究経費支出	329,590,156
	調整勘定等		19,128,188
施設整備等活動による資金収支	科目		金額
	収入	施設設備補助金収入	451,000
		施設整備等活動資金収入計	501,000
	支出	施設関係支出	886,600
		設備関係支出	42,448,190
		施設整備等活動資金支出計	64,858,369
	差引		▲ 64,357,369
	調整勘定等		▲ 1,749,256
施設整備等活動資金収支差額			▲ 66,106,625
その他の活動による資金収支	科目		金額
	収入	借入金等収入	400,000
		小計	7,479,524
		受取利息・配当金収入	64,156
		その他の活動資金収入計	7,543,680
	支出	借入金等返済支出	27,859,000
		小計	37,332,711
		借入金等利息支出	1,715,498
	調整勘定等		0
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）			▲ 15,502,894
前年度繰越支払資金			1,598,641,425
翌年度繰越支払資金			1,583,138,531

法人名:　育 英 学 院

事 業 活 動 収 支 計 算 書

令和5年　4月　1日から
令和6年　3月　31日まで

＜総括表＞

（単位 円）

		科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,097,439,110	1,097,628,529	▲ 189,419
		手数料	11,268,000	10,897,650	370,350
		寄付金	17,185,000	17,751,238	▲ 566,238
		経常費等補助金	420,402,695	425,629,052	▲ 5,226,357
		国庫補助金	131,688,000	130,311,512	1,376,488
		地方公共団体補助金	288,714,695	295,317,540	▲ 6,602,845
		付随事業収入	53,653,000	55,305,542	▲ 1,652,542
		雑収入	46,516,334	50,458,951	▲ 3,942,617
		教育活動収入計	1,646,464,139	1,657,670,962	▲ 11,206,823
	事業活動支出の部	科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
		人件費	1,148,826,955	1,150,227,449	▲ 1,400,494
		教育研究経費	525,998,411	511,340,122	14,658,289
		管理経費	148,368,979	142,547,572	5,821,407
		徴収不能額等	280,000	278,977	1,023
		教育活動支出計	1,823,474,345	1,804,394,120	19,080,225
		教育活動収支差額	▲ 177,010,206	▲ 146,723,158	▲ 30,287,048
教育活動外収支	事業活動収入の部	科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
		受取利息・配当金	59,785	64,156	▲ 4,371
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	59,785	64,156	▲ 4,371
	事業活動支出の部	科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
		借入金利息	1,715,000	1,715,498	▲ 498
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	1,715,000	1,715,498	▲ 498
		教育活動外収支差額	▲ 1,655,215	▲ 1,651,342	▲ 3,873
経常収支差額					
特別収支	事業活動収入の部	科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
		資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	501,000	2,103,583	▲ 1,602,583
		特別収入計	501,000	2,103,583	▲ 1,602,583
	事業活動支出の部	科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
		資産処分差額	5,662,778	5,590,153	72,625
		その他の特別支出	36,000	35,684	316
		特別支出計	5,698,778	5,625,837	72,941
		特別収支差額	▲ 5,197,778	▲ 3,522,254	▲ 1,675,524
〔予備費〕			(24,287,000) 19,713,000		19,713,000
基本金組入前当年度収支差額			▲ 203,576,199	▲ 151,896,754	▲ 51,679,445
基本金組入額合計			▲ 17,425,000	▲ 20,249,498	2,824,498
当年度収支差額			▲ 221,001,199	▲ 172,146,252	▲ 48,854,947
前年度繰越収支差額			▲ 2,484,575,326	▲ 2,484,575,326	0
基本金取崩額			2,500,000	33,697,063	▲ 31,197,063
翌年度繰越収支差額			▲ 2,703,076,525	▲ 2,623,024,515	▲ 80,052,010

（参考）

事業活動収入計	1,647,024,924	1,659,838,701	▲ 12,813,777
事業活動支出計	1,850,601,123	1,811,735,455	38,865,668

(2)前年度末の貸借対照表

法人名:　育 英 学 院

貸 借 対 照 表

令和6年　3月　31日

＜総括表＞　　（単位 円）

資産の部			
科　　目	本 年 度 末	前 年 度 末	増　　減
固定資産	10,403,329,610	10,556,699,456	▲ 153,369,846
有形固定資産	9,112,240,530	9,286,276,798	▲ 174,036,268
特定資産	1,286,682,671	1,265,159,092	21,523,579
その他の固定資産	4,406,409	5,263,566	▲ 857,157
流動資産	1,668,435,022	1,710,196,410	▲ 41,761,388
資産の部合計	12,071,764,632	12,266,895,866	▲ 195,131,234
負債の部			
科　　目	本 年 度 末	前 年 度 末	増　　減
固定負債	657,285,818	679,736,618	▲ 22,450,800
流動負債	154,358,621	175,142,301	▲ 20,783,680
負債の部合計	811,644,439	854,878,919	▲ 43,234,480
純資産の部			
科　　目	本 年 度 末	前 年 度 末	増　　減
基本金	13,883,144,708	13,896,592,273	▲ 13,447,565
第1号基本金	13,762,630,489	13,776,078,054	▲ 13,447,565
第2号基本金	0	0	0
第3号基本金	0	0	0
第4号基本金	120,514,219	120,514,219	0
繰越収支差額	▲ 2,623,024,515	▲ 2,484,575,326	▲ 138,449,189
純資産の部合計	11,260,120,193	11,412,016,947	▲ 151,896,754
負債及び純資産の部合計	12,071,764,632	12,266,895,866	▲ 195,131,234

(3)前年度末の財産目録

財　産　目　録

令和６年　３月３１日 現在

学校法人　育英学院
（単位　円）

Ⅰ　資産総額		**金**	**12,071,764,632 円**
内	1　基本財産	金	8,655,606,558 円
	2　運用財産	金	3,416,158,074 円
［	3　収益事業用財産	金	0 円］
Ⅱ　負債総額		**金**	**811,644,439 円**
［	3　収益事業用負債	金	0 円］
Ⅲ　正味財産		**金**	**11,260,120,193 円**

財産の状況

科　目	摘　要	金　額
［１］資産		**12,071,764,632**
１　基本財産		**8,655,606,558**
土　地	【法人本部】東京都目黒区碑文谷一丁目１番地１	21,364,980
	【サレジオ工業高等専門学校】東京都町田市小山ヶ丘四丁目６番１２	109,565,827
	【サレジオ工業高等専門学校】東京都町田市小山ヶ丘四丁目６番１４	604,196,103
	【サレジオ工業高等専門学校】東京都町田市小山ヶ丘四丁目６番２１	982,361,912
	【サレジオ工業高等専門学校】東京都町田市小山ヶ丘四丁目６番２２	9,772,743
	【サレジオ工業高等専門学校】東京都町田市小山ヶ丘四丁目６番８	1,623,922,075
	【サレジオ工業高等専門学校】東京都町田市小山ヶ丘四丁目６番１３	181,864,365
	【サレジオ工業高等専門学校】東京都町田市小山ヶ丘四丁目６番１６、１７	175,251,850
	【サレジオ工業高等専門学校】東京都町田市小山ヶ丘四丁目６番２７	4,230,417
	【サレジオ工業高等専門学校】東京都町田市小山ヶ丘四丁目６番２８	74,403,808
	【サレジオ中学校】東京都小平市上水南町四丁目５９２番８６	20,674,677
	【サレジオ小学校】東京都小平市上水南町四丁目５９２番８６	9,727,795
	【目黒サレジオ幼稚園】東京都目黒区碑文谷一丁目一番地	24,232,572
	【目黒サレジオ幼稚園】山梨県南都留郡山中湖村山中２７４番５２	94,920,000
	【目黒サレジオ幼稚園】山梨県南都留郡山中湖村山中２７４番２０１	10,653,345
	【目黒サレジオ幼稚園】山梨県南都留郡山中湖村山中２７４番５５	107,581,695
	【足立サレジオ幼稚園】東京都足立区江北三丁目２６番２	24,896,910
	【足立サレジオ幼稚園】東京都足立区江北三丁目２６番３	10,374,889
	【足立サレジオ幼稚園】東京都足立区江北三丁目２７番１	23,222,680
	【足立サレジオ幼稚園】東京都足立区江北三丁目２７番２	15,213,993
	【足立サレジオ幼稚園】東京都足立区江北三丁目２７番４	32,480,370
	【足立サレジオ幼稚園】東京都足立区江北三丁目２８番	43,570,769
	【足立サレジオ幼稚園】東京都足立区江北三丁目２９番	37,346,149
	【足立サレジオ幼稚園】東京都足立区江北三丁目３０番１	4,245,985
	【足立サレジオ幼稚園】東京都足立区江北三丁目３０番２	27,784,054
	【町田サレジオ幼稚園】東京都町田市小山ヶ丘四丁目６番２	253,160,117
	【町田サレジオ幼稚園】東京都町田市小山ヶ丘四丁目６番１５	32,426,042
	【町田サレジオ幼稚園】東京都町田市小山ヶ丘四丁目６番１８	13,563,104
	【町田サレジオ幼稚園】東京都町田市小山ヶ丘四丁目６番１９	12,391,687
	【町田サレジオ幼稚園】東京都町田市小山ヶ丘四丁目６番２６	74,458,567
	【町田サレジオ幼稚園】東京都町田市小山ヶ丘四丁目６番２７	143,966,258
建　物	【サレジオ工業高等専門学校】建物附属　アンテナ取付工事	168,251
	【サレジオ工業高等専門学校】学生寮　鉄筋コンクリート造　コンクリート屋根　３階建	84,930,280
	【サレジオ工業高等専門学校】校舎　鉄筋コンクリート　鉄骨造　陸屋根４階建	1,427,174,054
	【サレジオ工業高等専門学校】準校舎　鉄骨造　亜鉛メッキ鋼　板葺２階建	473,131,780
	【サレジオ工業高等専門学校】鉄筋コンクリート 鉄骨造陸屋根ステンレス鋼板葺３階建	80,451,593
	【サレジオ工業高等専門学校】夢工房　鉄骨造　亜鉛メッキ鋼板葺　平家建	39,936,931
	【サレジオ工業高等専門学校】寮裏手倉庫	1
	【サレジオ工業高等専門学校】夢工房屋根塗装工事	1
	【サレジオ工業高等専門学校】野尻湖山荘新館厨房改修工事	969,402
	【サレジオ工業高等専門学校】建物附属83件　数量103	208,356,010
	【サレジオ中学校】鉄筋コンクリート造　ステンレス鋼板葺　陸屋根２階建	222,379,477
	【サレジオ中学校】建物附属3件　数量3	2,571,897
	【サレジオ小学校】鉄筋コンクリート造　ステンレス鋼板葺　陸屋根２階建	444,758,756
	【サレジオ小学校】建物附属3件　数量2（小中按分による差異）	2,608,992

（単位　円）

科　目	摘　要	金　額
	【目黒サレジオ幼稚園】鉄筋コンクリート　鉄骨造　鉄板葺2階建	18,784,925
	【目黒サレジオ幼稚園】鉄骨造　亜鉛メッキ鋼板葺　2階建	5,423,345
	【目黒サレジオ幼稚園】鉄筋コンクリート造　陸屋根　4階建	3,496,512
	【目黒サレジオ幼稚園】木造瓦葺　2階建	2
	【目黒サレジオ幼稚園】建物附属52件　数量53	438,338
	【足立サレジオ幼稚園】鉄骨造　2階	136,723,374
	【足立サレジオ幼稚園】建物附属12件　数量32	13,836,724
	【町田サレジオ幼稚園】鉄骨造　合金メッキ合板板葺き　２階建	203,966,109
	【町田サレジオ幼稚園】木造　合金メッキ鋼板板葺き　平屋建	35,088,615
	【町田サレジオ幼稚園】建物附属18件　数量36	31,745,390
構　築　物	【サレジオ工業高等専門学校】51件　数量51	14,475,954
	【サレジオ中学校】5件　数量5	5
	【サレジオ小学校】9件　数量8（小中按分による差異）	8
	【目黒サレジオ幼稚園】42件　数量55	2,575,739
	【足立サレジオ幼稚園】17件　数量17	10,612,459
	【町田サレジオ幼稚園】28件　数量28	25,783,765
教育研究用機器備品	【サレジオ工業高等専門学校】デザイン学科21件　数量241	4,585,895
	【サレジオ工業高等専門学校】電気工学科60件　数量102	30,115,944
	【サレジオ工業高等専門学校】機械電子工学科53件　数量147	12,117,612
	【サレジオ工業高等専門学校】情報工学科46件　数量102	3,475,236
	【サレジオ工業高等専門学校】714件　数量6,612	71,569,264
	【サレジオ中学校】171件　数量487	18,079,186
	【サレジオ小学校】240件　数量1237	12,913,439
	【目黒サレジオ幼稚園】197件　数量1210	10,451,182
	【足立サレジオ幼稚園】50件　数量177	2,309,088
	【町田サレジオ幼稚園】17件　数量324	7,862,869
管理用機器備品	【法人本部】4件　数量4	449,352
	【サレジオ工業高等専門学校】電気工学科2件　数量2	1,564,000
	【サレジオ工業高等専門学校】107件　数量229	14,056,114
	【サレジオ中学校】14件　数量9（小中按分による差異）	1,158,672
	【サレジオ小学校】19件　数量16（小中按分による差異）	1,158,675
	【目黒サレジオ幼稚園】55件　数量60	2,587,178
	【足立サレジオ幼稚園】5件　数量6	493,803
	【町田サレジオ幼稚園】件　数量4	524,701
図　書	【サレジオ工業高等専門学校】11分野　39,009冊	156,866,714
	【サレジオ中学校】	2,561,599
	【サレジオ中学校】	2,602,988
	【町田サレジオ幼稚園】1,550冊	3,888,612
車　両	【サレジオ工業高等専門学校】公用車2台　トラクター1台	3
	【足立サレジオ幼稚園】園バス2台	2
	【町田サレジオ幼稚園】園バス3台	3

（単位　円）

科　目	摘　要	金　額
2　運用財産		**3,416,158,074**
現　金　預　金	【法人本部】	16,915,902
	【サレジオ工業高等専門学校】	434,439,425
	【サレジオ中学校】	362,955,585
	【目黒サレジオ幼稚園】	743,002,226
	【足立サレジオ幼稚園】	23,294,317
	【町田サレジオ幼稚園】	2,531,076
土　　地	東京都練馬区南田中一丁目１５番９	1,065,469
	東京都杉並区井草二丁目８９番１	202,720,160
	東京都杉並区井草二丁目８９番２	960,567
	東京都杉並区井草二丁目９０番１	1,773,367
	東京都杉並区井草二丁目９７番２等	1,056,371
建　　物	ＳＩＴＥＣ　鉄筋コンクリート造　陸屋根　アルミニウム板葺　３階建	246,380,532
	ＳＩＴＥＣ追加工事	2,677,500
	ＳＩＴＥＣ建物附属6件　数量7	6
施設修繕・整備拡充引当特定資産	UBS世界公共インフラ債権投信　円コース　8,931,743口	9,933,011
	【サレジオ工業高等専門学校】	412,749,660
	【目黒サレジオ幼稚園】	864,000,000
電 話 加 入 権	【法人本部】2件　数量2	155,284
	【サレジオ工業高等専門学校】8件　数量17	1,891,929
	【サレジオ中学校】1件　数量1	49,968
	【サレジオ小学校】1件　数量1	100,000
	【目黒サレジオ幼稚園】3件　数量3	175,416
	【足立サレジオ幼稚園】1件　数量2	110,800
施 設 利 用 権	【サレジオ中学校】	1
	【サレジオ小学校】	1
有　価　証　券	eMAXIS Slim 米国株式（S&P500）　259,643口	710,331
長 期 貸 付 金	【サレジオ工業高等専門学校】	996,200
出　資　金	【足立サレジオ幼稚園】	30,000
預　託　金	【サレジオ工業高等専門学校】自動車リサイクル預託金	19,560
	【足立サレジオ幼稚園】	27,240
	【町田サレジオ幼稚園】	43,990
ソフトウエア	【サレジオ工業高等専門学校】2件　数量4	95,689
未　収　入　金	【サレジオ工業高等専門学校】	26,086,403
	【サレジオ中学校】	1,900,503
	【目黒サレジオ幼稚園】	8,978,002
	【足立サレジオ幼稚園】	4,437,845
	【町田サレジオ幼稚園】	8,391,665
短 期 貸 付 金	【サレジオ工業高等専門学校】	440,000
	【町田サレジオ幼稚園】	600,000
前　　払　　金	【サレジオ工業高等専門学校】	1,619,281
	【サレジオ中学校】	183,930
	【サレジオ小学校】	183,930
	【目黒サレジオ幼稚園】	201,941
	【足立サレジオ幼稚園】	81,204
	【町田サレジオ幼稚園】	734,135
立　　替　　金	【サレジオ中学校】	29,100
	【目黒サレジオ幼稚園】	232,050
	【足立サレジオ幼稚園】	2,000
仮　　払　　金	【サレジオ工業高等専門学校】	321,502
	【町田サレジオ幼稚園】	30,000
研修旅行預り資産	【サレジオ工業高等専門学校】	24,263,000
	【サレジオ中学校】	4,440,000
	【サレジオ小学校】	2,140,000
3　収益事業用財産		**0**
[２]負債		**811,644,439**
1　固定負債		**657,285,818**
長 期 借 入 金	【サレジオ工業高等専門学校】	95,788,000
	【町田サレジオ幼稚園】	83,300,000
退職給与引当金	【サレジオ工業高等専門学校】	475,216,981

（単位　円）

科　目	摘　要	金　額
	【サレジオ中学校】	2,056,003
	【サレジオ小学校】	924,834
2　流動負債		**154,358,621**
短期借入金	【サレジオ工業高等専門学校】	10,304,000
	【町田サレジオ幼稚園】	8,330,000
未　払　金	【サレジオ工業高等専門学校】	16,732,543
	【サレジオ中学校】	3,028,072
	【サレジオ小学校】	1,195,031
	【目黒サレジオ幼稚園】	5,821,019
	【足立サレジオ幼稚園】	2,960,338
	【町田サレジオ幼稚園】	2,482,964
前　受　金	【サレジオ工業高等専門学校】	48,950,000
	【サレジオ中学校】	2,240,000
	【サレジオ小学校】	1,520,000
	【目黒サレジオ幼稚園】	9,460,000
	【足立サレジオ幼稚園】	2,050,000
	【町田サレジオ幼稚園】	3,100,000
預　り　金	【サレジオ工業高等専門学校】	3,028,449
	【サレジオ中学校】	533,420
	【サレジオ小学校】	282,300
	【目黒サレジオ幼稚園】	42,199
	【足立サレジオ幼稚園】	422,652
	【町田サレジオ幼稚園】	1,032,634
研修旅行預り金	【サレジオ工業高等専門学校】	24,263,000
	【サレジオ中学校】	4,440,000
	【サレジオ小学校】	2,140,000
3　収益事業用負債		**0**
［3］借用財産		**0**
正味財産		**11,260,120,193**

(4)前年度の事業報告書

令和５年度　事　業　報　告　書

１　育　　英　　学　　院　　概　　要

２　育　英　学　院　事　業　報　告　書

３　育　英　学　院　財　政　の　概　要

学校法人　育　英　学　院

1. 育英学院概要

⑴基本情報

①法人の名称　　学校法人　育英学院

②主たる事務所　住所　194-0215　東京都町田市小山ヶ丘四丁目６番８号

電話　０４２－７７５－３０２０　FAX　０４２－７７５－３０２３

ホームページ　https://www.salesio-sp.ac.jp/main/about_us/ikueigakuin.html

⑵建学の精神

この法人は、教育基本法及び学校教育法に従いつつ、カトリックの教育精神及び設立母体であるカトリック・サレジオ修道会の創立者ヨハネ・ボスコの教育理念に基づく学校教育を行い、社会に有為な人材を育成することを目的とする。

【学校法人育英学院寄附行為　第３条】

⑶学校法人の沿革

昭和 ８年	学校設立準備、学校設立代表者ヴィンセンシオ・チマッチ
９年	東京育英工芸学校を創設、乙種工業学校として印刷科を設置
１０年　４月　１日	学校開設
１３年　４月	木材工芸科を新設
１５年　２月２２日	財団法人組織とし、帝都育英学院と称する
１７年　３月	甲種工業学校に昇格、帝都育英工業学校と改称
２２年　４月	学制改革により帝都育英中学校を併設
２３年　３月	学制改革により帝都育英工業高等学校と改称
２４年　４月	電気科を新設
２６年　２月２６日	学校法人組織となり「学校法人　帝都育英学院」と改称
３４年　９月１０日	カトリック・サレジオ修道会より目黒サレジオ幼稚園（昭和２４年３月３０日開設）を移管される
３４年　９月１０日	目黒サレジオ中学校を設置する
３５年　３月１２日	帝都育英中学校、帝都育英工業高等学校の校名を「育英中学校」ならびに「育英工業高等学校」と改称
３７年１２月１５日	育英高等専門学校を設立する（既設学科：印刷工学科、電気工学科、工業意匠学科）
３８年　４月２６日	サレジオ高等学校を設置する（全日制：普通科）
３８年１０月　３日	学校法人名「学校法人　育英学院」と改称
３８年１０月　３日	学校法人東京サレジオ学園を吸収合併する （サレジオ小学校：昭和２２年４月１日設立、サレジオ中学校：昭和２３年３月１４日設立）
４０年　３月　１日	育英工業高等学校を廃校する
４２年　３月１３日	足立サレジオ幼稚園を設置する　　育英高等専門学校を「育英工業高等専門学校」と改称、 工業意匠学科を「工業デザイン学科」に変更改称する
４３年　３月３０日	川崎サレジオ幼稚園を設置する
５０年　１月３０日	川崎サレジオ中学校を設置する　　印刷工学科を「グラフィック工学科」と改称する
５１年　２月２３日	目黒サレジオ中学校を廃校する
５８年　４月　１日	サレジオ高等学校、川崎サレジオ中学校、川崎サレジオ幼稚園を「育英学院」より法人分離 （新設法人名「学校法人サレジオ学院」と称する）
６２年１２月２３日	電気工学科収容定員４５０人から６７５人に変更認可
６２年１２月２３日	グラフィック工学科４５０人から２２５人に変更認可
６３年　４月　１日	情報教育センター設置、男女共学の実施
平成 元年　４月　１日	電子工学科、情報工学科を開設する　　定員各４５人
２年　３月２２日	育英中学校を廃校する
５年　３月３１日	女子第１期生卒業
６年　４月　１日	１年生混成学級編成　　研究生第１期生入学　　グラフィック工学科
７年　４月　１日	１・２年混成学級編成　　研究生第２期生入学　　工業デザイン学科
９年　２月１２日	グラフィック工学科をビジュアル情報工学科に、工業デザイン学科をデザイン工学科に学科名改称する
１０年　４月　１日	サレジアン文化技術交流センター（ＳＩＴＥＣ）での教育活動を開始する
１３年　２月１５日	専攻科生産システム工学専攻設置認可
１４年　３月１１日	育英工業高等専門学校のキャンパスを多摩ニュータウン町田グランネットタウン 小山地区（京王線：多摩境駅）に移転する計画を決定し準備に入る。

平成１７年　３月３１日	東京都町田市小山ヶ丘４－６－８に育英工業高等専門学校キャンパス移転完了
	ビジュアル情報工学科第３８期生卒業　同学科閉科
１７年　４月　１日	「育英工業高等専門学校」の校名を「サレジオ工業高等専門学校」に改称する。
１７年　４月　１日	サレジオ工業高等専門学校町田キャンパス開所
１７年　５月１３日	サレジオ工業高等専門学校新校舎落成式
１９年　５月２９日	ビジュアル情報工学科廃止届。
１９年　５月２９日	電子工学科の名称を機械電子工学科に改める。
２１年　４月　１日	デザイン工学科の名称をデザイン学科に改める。
２７年　４月　１日	町田サレジオ幼稚園を設置する（平成２７年３月３１日認可）

⑷設置する学校・学科　　令和５年５月１日現在

学校及び学科名	設置年月日	校長・園長名	住　　所	電話･FAX
サレジオ工業高等専門学校	昭 37.12.15	小 島　知 博	東京都町田市小山ヶ丘四丁目６番８号	TEL 042-775-3020 FAX 042-775-3021
デザイン学科	昭 37.12.15			
電気工学科	昭 37.12.15			
機械電子工学科	平元.12.22			
情報工学科	平元.12.22			
専攻科 生産システム専攻	平 13. 2.15			
サレジオ中学校	昭 23. 3.24	北 川　純 二	東京都小平市上水南町四丁目７番１号	TEL 042-321-0312 FAX 042-321-0776
サレジオ小学校	昭 22. 3.29			
目黒サレジオ幼稚園	昭 24. 8.30	三 島　　心	東京都目黒区碑文谷一丁目２６番２４号	TEL 03-3714-2531
足立サレジオ幼稚園	昭 42. 3.13	野 口　重 光	東京都足立区江北三丁目４０番２７号	TEL 03-3899-4497
町田サレジオ幼稚園	平 27.4.1	松 永　伸 子	東京都町田市小山ヶ丘四丁目６番２号	TEL 042-775-3120

⑸学校・学科等の学生・生徒・児童・園児の現況　　令和５年５月１日現在

学校・幼稚園名		入学定員	入学者数	収容定員	現員数
サレジオ工業高等専門学校	専攻科	14	10	28	20
	デザイン学科	45	47	225	199
	電気工学科	45	20	225	133
	機械電子工学科	45	50	225	222
	情報工学科	45	54	225	214
サレジオ中学校		30	28	90	70
サレジオ小学校		30	15	180	87
目黒サレジオ幼稚園		110	78	450	215
足立サレジオ幼稚園		35	16	105	71
町田サレジオ幼稚園		60	47	180	116

⑹収容定員充足率　　（毎年度５月１日現在）

学校名	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
サレジオ工業高等専門学校	93.1%	94.3%	89.6%	89.1%	85.3%

※本科のみ

⑺役員の概要

定員数

理事：６人以上８人以内　監事：２人【学校法人育英学院寄附行為　第５条】令和５年５月１日現在

役員区分	氏　名	就任年月日	常勤 非常勤	主な現職等
功労者	並木　豊勝	平成２６年１２月２日	非常勤	育英学院理事長
学院長 高専校長	小島　知博	平成１７年５月３１日	常勤	育英学院学院長 サレジオ工業高等専門学校長
中学校長	北川　純二	平成２６年４月１日	常勤	サレジオ中学校長 サレジオ小学校長
評議員互選	三島　　心	平成３０年４月１日	常勤	目黒サレジオ幼稚園長
評議員互選	木戸　能史	平成２０年２月２１日	常勤	常務理事
評議員互選	小島　　勉	平成１４年４月１日	常勤	常務理事
功労者	木村　彰男	平成３１年４月１５日	非常勤	外部理事
功労者	米本　光男	平成２３年５月２６日	非常勤	外部理事
監事	前田　崇史	令和４年１０月１日	非常勤	
監事	菅野　正一	令和２年６月１日	非常勤	

⑻評議員の概要

定員数：１８人以上２０人以内　　【学校法人育英学院寄附行為　第１９条】　令和５年５月１日現在

評議員区分	氏　名	就任年月日	主な現職等
高専校長	小島　知博	平成２０年２月１日	サレジオ工業高等専門学校長
小学校長	北川　純二	平成２６年４月１日	サレジオ中学校長、サレジオ小学校長
幼稚園長	三島　　心	平成３０年４月１日	目黒サレジオ幼稚園長
幼稚園長	野口　重光	平成３１年４月１日	足立サレジオ幼稚園長
幼稚園長	松永　伸子	平成３１年４月１日	町田サレジオ幼稚園長
教職員	横山　松生	平成２１年２月２３日	町田サレジオ幼稚園　副園長
教職員	北川　大介	令和２年４月１日	サレジオ工業高等専門学校チャプレン
教職員	山野邉基雄	令和２年１月１日	サレジオ工業高等専門学校副校長
教職員	福原　信広	令和５年４月１日	サレジオ工業高等専門学校事務局長
同窓生	桂嶋　博明	平成２２年５月２０日	育英学院同窓会相談役
同窓生	河村　英和	平成３０年４月１日	育英学院同窓会長
理事互選	並木　豊勝	平成２６年１２月２日	育英学院理事長
理事互選	米本　光男	平成２３年５月２６日	育英学院外部理事
保護者	田村　寛	令和３年４月１日	東京サレジオ学園　施設長
保護者	富岡　貴子	令和４年９月６日	サレジオ工業高等専門学校　保護者会会長
学識経験	濱口　秀昭	平成３１年４月１５日	カトリック・サレジオ修道会日本管区長
学識経験	木戸　能史	平成１４年４月１日	育英学院常務理事
学識経験	小島　　勉	平成１４年４月１日	育英学院常務理事

⑼教職員の概要　　令和５年５月１日現在

職名 / 学校名	校長 園長	教授	准教授	講師 教諭	助教 助手	非常勤 講師	事務 職員	非常勤 職員	合計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人
法人本部							1	1	2
サレジオ工業 高等専門学校	1	17	18	10	4	42	25	12	129
サレジオ中学校	1			8		4		1	14
サレジオ小学校	(1)			9		3	1	2	15
目黒サレジオ幼稚園	1			17		5	4	10	37
足立サレジオ幼稚園	1			6		2	1	4	14
町田サレジオ幼稚園	1			8		7	2	4	22
計	5	17	18	58	4	63	34	34	233

⑽その他

『学校法人育英学院寄附行為』は

http://www.salesio-sp.ac.jp/main/pdf/about_us/ikueigakuin/donation-20200401.pdf を参照。

・会議報告

理事会報告

令和５年５月２５日（木）　　午後１時３０分から

第１号議案　　理事・監事・評議員の確認

第２号議案　　令和４年度事業報告について

第３号議案　　令和４年度決算報告について

第４号議案　　令和４年度財産目録について

第５号議案　　監事の監査報告

第６号議案　　内部監査報告書について

第７号議案　　人事関連について

第８号議案　　足立サレジオ幼稚園　増築計画について

第９号議案　　サレジオ工業高等専門学校　預け金について

第１０号議案　その他の重要事項及び報告

令和５年９月７日（木）　　午後２時３０分から

出席理事　８名　　出席監事　２名

第１号議案　　補助金関連報告

第２号議案　　人事関連報告

第３号議案　　公開資料について

第４号議案　　役員賠償責任保険について

第５号議案　　令和４年度学校自己点検評価書について

第６号議案　　足立サレジオ幼稚園　増築について

第７号議案　　目黒サレジオ幼稚園　園舎建て替えについて
第８号議案　　育英学院　設置学校・幼稚園　学則・園則変更について
第９号議案　　令和６年度募集について
第１０号議案　その他の重要事項及び報告

令和５年１１月３０日（木）　　午後２時３０分から
出席理事　７名　委任状出席理事　１名　出席監事　２名
第１号議案　　補助金関連報告
第２号議案　　人事関連報告
第３号議案　　令和５年度募集状況報告
第４号議案　　令和５年度賞与等について
第５号議案　　稟議規程について
第６号議案　　稟議書について
第７号議案　　サレジオ工業高等専門学校　学則変更について
第８号議案　　足立サレジオ幼稚園　園舎増築について
第９号議案　　その他の重要事項及び報告

令和６年３月２５日（月）　　午後１時３０分から
出席理事　８名　　出席監事　２名
第１号議案　　理事・評議員・園長の選任について
第２号議案　　令和５年度第１回補正予算について
第３号議案　　令和６年度事業計画について
第４号議案　　令和６年度当初予算について
第５号議案　　借入金について
第６号議案　　私立学校法改正に係る寄附行為変更について
第７号議案　　令和６年度募集状況について
第８号議案　　補助金関連報告について
第９号議案　　各所からの稟申について
第１０号議案　人事関連について
第１１号議案　サレジオ工業高等専門学校　照明更新工事について
第１２号議案　目黒サレジオ幼稚園　園舎建て替えについて
第１３号議案　足立サレジオ幼稚園　園舎増築について
第１４号議案　監事監査報告書について
第１５号議案　内部監査報告書について
第１６号議案　その他の重要事項及び報告

評議員会報告

令和５年５月２５日（木）　　午後３時５０分から

出席評議員　１８名　出席監事　２名

第１号議案　理事・監事・評議員の確認

第２号議案　令和４年度事業報告について

第３号議案　令和４年度決算報告について

第４号議案　令和４年度財産目録について

第５号議案　監事の監査報告

第６号議案　その他の重要事項及び報告

令和６年３月２５日（月）　　午後１時４５分から

出席評議員　１８名　　出席監事　２名

第１号議案　　理事・評議員・園長の選任について

第２号議案　　令和５年度第１回補正予算について

第３号議案　　令和６年度事業計画について

第４号議案　　令和６年度当初予算について

第５号議案　　借入金について

第６号議案　　私立学校法改正に係る寄附行為変更について

第７号議案　　その他の重要事項及び報告

【補助金報告等】

（１）補助金等関係報告

サレジオ工業高等専門学校

	補助金名称	交付団体	R5年度	R4年度	前年比	備考
1	経常費補助金	日本私立学校振興・共済事業団	117,887,000	119,726,000	▲ 1,839,000	
2	授業料等減免費交付金	日本私立学校振興・共済事業団	11,598,800	12,720,800	▲ 1,122,000	該当者の増減による
3	就学支援金事務費補助金	東京都生活文化スポーツ局	1,246,000	1,133,000	113,000	
4	結核予防費都費補助金	東京都福祉保健局	54,648	62,069	▲ 7,421	
5	東京都授業料軽減助成金	東京都私学財団	35,802,600	41,118,433	▲ 5,315,833	該当者の増減による
6	子どもゆめ基金	国立青少年教育振興機構	491,297	301,093	190,204	
7	INPIT知財力開発支援事業	発明推進機構	334,415	480,919	▲ 146,504	
8	町田市物価高騰対策給付金	町田市	100,000	0	100,000	
		サレジオ工業高等専門学校　小計	167,514,760	175,542,314	▲ 8,027,554	

サレジオ中学校

	補助金名称	交付団体	R5年度	R4年度	前年比	備考
1	経常費補助金	東京都	56,265,300	59,688,100	▲ 3,422,800	教員数減による
2	光熱費等高騰緊急対策補助金	東京都	0	511,000	▲ 511,000	単年度補助金の為
3	国の節電プログラム参加特典	ＴＥＰＣＯ	0	200,000	▲ 200,000	
4	私立学校デジタル教育環境整備助成事業	東京都私学財団	451,000	0	451,000	整備実施の為利用
		サレジオ中学校　小計	56,716,300	60,399,100	▲ 3,682,800	

サレジオ小学校

	補助金名称	交付団体	R5年度	R4年度	前年比	備考
1	経常費補助金	東京都	59,051,600	58,673,300	378,300	
2	光熱費等高騰緊急対策補助金	東京都	0	730,000	▲ 730,000	単年度補助金の為
		サレジオ小学校　小計	59,051,600	59,403,300	▲ 351,700	

目黒サレジオ幼稚園

	補助金名称	交付団体	R5年度	R4年度	前年比	備考
1	幼稚園教育体制支援事業費交付金	文部科学省	0	1,675,000	▲ 1,675,000	
2	経常費補助金	東京都	51,287,700	51,151,800	135,900	
3	私立幼稚園等教育体制支援事業費	東京都	2,048,000	553,000	1,495,000	
4	私立幼稚園等環境整備費補助金	東京都	666,000	220,000	446,000	
5	預かり保育推進補助金	東京都	2,310,000	1,920,000	390,000	
6	光熱費等高騰緊急対策補助金	東京都	0	805,000	▲ 805,000	昨年度のみ実施
7	私立幼稚園特別支援教育推進補助金	東京都	784,000	0	784,000	
8	私立幼稚園教諭処遇改善費	目黒区	1,386,000	1,436,400	▲ 50,400	
9	原材料価格等高騰対策給付金	目黒区	2,164,050	2,234,250	▲ 70,200	
10	新型コロナウイルス感染症対策補助金	目黒区	0	163,000	▲ 163,000	
11	目黒区保存樹木補助金	目黒区	50,000	50,000	0	
12	私立幼稚園心身障害児教育事業費補助金	目黒区	366,000	0	366,000	
13	送迎バス等安全事業費補助金	目黒区	436,000	0	436,000	
14	事務手数料（川崎市より）	川崎市	5,200	5,200	0	川崎市在園児有
15	私立学校災害時対応環境整備費補助金	東京都私学財団	110,000	0	110,000	R5～7年度実施
		目黒サレジオ幼稚園　小計	61,612,950	60,213,650	1,399,300	

足立サレジオ幼稚園

	補助金名称	交付団体	R5年度	R4年度	前年比	備考
1	幼稚園教育体制支援事業費交付金	文部科学省	0	409,000	▲ 409,000	
2	経常費補助金	東京都	22,001,900	21,402,600	599,300	園児数微増
3	私立幼稚園等教育体制支援事業費	東京都	740,000	159,000	581,000	
4	預かり保育推進補助金	東京都	1,330,000	1,470,000	▲ 140,000	利用者平均の減少
5	特別支援学校等経常費補助金	東京都	7,840,000	3,920,000	3,920,000	加配対象園児増加
6	光熱費等高騰緊急対策補助金	東京都	0	102,000	▲ 102,000	
7	新型コロナウイルス感染症対策補助金	足立区	79,200	500,000	▲ 420,800	
8	安全管理経費補助金	足立区	33,000	33,000	0	
9	就園奨励事務費補助金	足立区	34,000	37,500	▲ 3,500	
10	私立幼稚園補助金	足立区	309,000	308,000	1,000	
11	送迎バス等安全対策支援事業	足立区	1,545,000		1,545,000	今年度のみ実施
12	物価高騰支援事業補助金	足立区	532,000	502,000	30,000	
13	私立幼稚園事務費補助金	川口市	2,000	2,000	0	
14	私立学校災害時対応環境整備費補助金	東京都私学財団	75,000	0	75,000	R5～7年度実施
		足立サレジオ幼稚園　小計	34,521,100	28,845,100	5,676,000	

町田サレジオ幼稚園

	補助金名称	交付団体	R5年度	R4年度	前年比	備考
1	幼稚園教育体制支援事業費交付金	文部科学省		1,016,000	▲ 1,016,000	
2	経常費補助金	東京都	33,893,800	32,388,400	1,505,400	専任教員数増加による
3	私立幼稚園等教育体制支援事業費	東京都	1,359,000	358,000	1,001,000	
4	預かり保育推進補助金	東京都	2,840,000	1,440,000	1,400,000	
5	特別支援学校等経常費補助金	東京都	1,568,000	2,352,000	▲ 784,000	
6	光熱費等高騰緊急対策補助金	東京都	0	421,000	▲ 421,000	
7	新型コロナウイルス感染症対策補助金	町田市	0	633,000	▲ 633,000	
8	事務処理補助金	町田市	143,000	247,000	▲ 104,000	
9	送迎バス等安全対策支援事業	町田市	2,104,732	0	2,104,732	今年度のみ実施
10	物価高騰対策支援金	町田市	110,250	912,600	▲ 802,350	
11	町田市私立幼稚園等災害共済均等補助金	町田市	33,060	35,055	▲ 1,995	
12	障がい児通園促進事業補助金	町田市	3,407,500	3,262,500	145,000	
13	町田市私立幼稚園等幼児教育充実事業補助金	町田市	1,220,000	1,240,000	▲ 20,000	
14	私立学校災害時対応環境整備費補助金	東京都私学財団	84,000	0	84,000	R5～7年度実施
		町田サレジオ幼稚園　小計	46,763,342	44,305,555	2,457,787	

受託事業（サレジオエ業高等専門学校）

	受託元	事業名	R5年度	R4年度	前年比	備考
1	株式会社　節句田	花活布活用研究費	0	70,000	▲ 70,000	
2	科学技術振興機構	さくらサイエンス	6,415,915	10,575,859	▲ 4,159,944	東ティモール
3	日本学術振興会	ひらめき・ときめきサイエンス	399,852	289,419	110,433	
4	ＹＤＫテクノロジーズ	機械学習活用　共同研究	880,000	880,000	0	
			7,695,767	11,815,278	▲ 4,119,511	

（２）施設・設備関係報告

	事業所名	内容	金額
1	サレジオエ業高等専門学校	コンピュータ制御高電圧試験装置	15,356,000
2	サレジオエ業高等専門学校	卓上走査電子顕微鏡	5,995,000

（３）令和５年度課題研究費採択者一覧

1	前後双方向移動車両の走行システムおよび認識システムの検討	¥ 350,000
2	汎用一眼カメラを用いた運動時における熱中症予防技術の評価	¥ 350,000
3	多目的利用を想定した周防大島沿岸浅海域多点多層観測システムの構築	¥ 350,000
4	環境音のセンシングに適したIoT指向の基本周波数推定法の検討	¥ 270,000
5	マグナス効果を用いた波力発電装置の実証機の開発	¥ 350,000
6	高専大学連携による分野横断型研究とgPBLを活用したSTEM人材育成の実践研究	¥ 350,000
7	The Role of Technical Education in the Process of State-building: The Case of Post-conflict State of Timor-Leste	¥ 300,000
8	電動車の長時間駆動へ寄与する世界初の独立型交流電池を組み込んだ電源システムの開発	¥ 350,000
9	還元性雰囲気により酸素空孔を導入したルチル型酸化チタンにおける近赤外発光に関する研究	¥ 350,000
10	Model Predictive Frequency Control based Inertia Response of Wind Turbine in Microgrid	¥ 350,000
11	DPBOS法やBOS法の定量的密度分布測定に向けた実験装置の改良と光学系配置に関する検討	¥ 350,000
12	パルス放電を用いた電気集じん装置内の粒子挙動及び放電シミュレーション解析	¥ 350,000
	合計	¥ 4,070,000

２ 育英学院事業報告書

理事長・理事会

事業計画

Ⅰ　常務理事中心のワーキンググループの運営

以下の案件について、ワーキンググループを継続して行っていく。このワーキンググループでは今年度は特に以下の点について重点的に取り組む。

１．育英学院設置の学校・幼稚園において定員充足に向けての施策の検討
➡未実施、継続案件

２．目黒サレジオ幼稚園の園舎建て替えについて検討
➡定期的にワーキンググループを中心に会議を実施

３．足立サレジオ幼稚園の増築の実施
➡法人本部職員が足立サレジオ幼稚園へ訪問し情報共有及び調整の実施
常任理事会及び理事会への報告を実施、緊密な連携を実現

ワーキンググループで取り扱ったことは常任理事会及び理事会の際に報告をし、理事会でより必要な検討を行う。➡実施

法人本部

一般の方針

Ⅰ　内部監査のチーム編成と強化、監事との連携を図る（継続）

内部監査と監事監査を同時期に行い、各事業所の準備負担の軽減を考慮する。また、監事のヒアリング時にスムーズな進行を行うために法人本部職員が同席をする。これにより、実り多い監査を目的とする。内部監査については監事監査のヒアリングと並行して書類監査を行う。また会計の監査のみならず、経営面や運営面の観点からの監査を模索する。また通常業務時において監査対象となりそうな点について、監査報告書へ記載していく。

➡今年度も監事監査と内部監査を連携して実施した。特に監事監査では従来監査で確認することが難しかった実務上での課題を法人本部職員と共有しながら事業所長等からヒアリングを実施することにより、より一層抱えている課題等に踏み込んだ監査を実現。次年度は夏季に簡易的な監査を実施することも検討する。

２　規則・規程の見直しと整理の準備を行う

規則･規程は運営上、必要なものであるが、時代の流れに併せて、改正することが必須である。しかし、現行の規則･規程について把握困難なものが多数あることから、第一に現状把握を行い、

規則・規程の整備に向けて準備を進める１年間とする。また齟齬が生じているものについて運営上問題があれば適宜改正も行っていく。

➡予算執行や稟議書等運営に関わる規則・規程について整備を実施。細かい規程類については今後も継続案件とする。

３　法人本部業務の強化のために

法人内の事務経理のみならず様々な事務分野での技術力を高めるため、また最近の社会状況に乗り遅れることのないように法人部職員を研修会に積極的に参加するように促す。また研修会で得た情報を必要に応じて各学校の事務職員へと伝達する（継続）。

また新たに専任職員１名採用したことにより、新人教育を慎重かつ適切に行っていく。そのために法人本部独自の新たな目標管理制度を導入し、適切な評価表を用いた制度で理解度を把握する。

➡継続案件。法人本部職員について採用活動を再開し、法人本部機能の充実を図っていく必要がある。

本部負担金については来年度が５カ年計画の最終年度となっている。今後見直しを図り、令和７年度から新たな計画を提示する。

本部負担金

	高専(800 人)	小中(160 人)	幼稚園(430 人)	前年度比（同数の場合）
令和２年度	20,000 円	20,000 円	18,000 円	－
令和３年度	25,000 円	20,000 円	20,000 円	（予定通り実施）
令和４年度	25,000 円	25,000 円	20,000 円	（予定通り実施）
令和５年度	25,000 円	25,000 円	25,000 円	（幼稚園未実施）
令和６年度	25,000 円	25,000 円	25,000 円	０円

➡本部負担金について５カ年計画が終了したが、幼稚園は 20,000 円据え置きになっている。今後は各事業所の財務状況を確認しながら令和６年度の数字を維持していく。

４　人件費

①役員報酬及び理事長報酬は前年度と同じ処遇とする。➡実施

②事務担当職員の賞与は、法人全体の月数を参考にする。➡実施

③事務職員の定期昇給について、評価制度を材料に評価に応じた昇給の検討を行う。➡未実施

５　その他具体的事業計画

・各事業所との連携

各事業所の校長・園長ならびに事務担当者等と緊密な連携をとり、互いに必要な情報の共有を行っていく。現在、各事業所を訪問する場合は以下の通りである。

① 監事監査・内部監査実施時 ➡実施
② 会計士による会計監査実施時 ➡実施
③ 人事・労務に特別な問題がある場合 ➡特別な問題が無かったことにより未実施
④ 建築や増築等、建物等に特別な変更を検討する場合 ➡足立サレジオ幼稚園について実施
⑤ 特別な事情があるとき ➡必要に応じて実施

これ以外に、法人本部と現場が強固な連携をとれるように、意見共有のタイミング等を検討する。
➡総じて各事業所（特に地理的に法人本部と離れた事業所）との意見共有について、電話やメール、またオンラインを用いて情報共有を積極的に図ることができた。しかしながら、決算期や繁忙期等、対応が追い付いていない時もあることや、法人本部の事務処理に引き続き課題を抱えている。今後、専任職員の採用をすることによって事務処理のレベルを上げると同時に、経営企画等の観点について強化が必要な状況である。

サレジオ工業高等専門学校

令和５年度重点施策

（１）教育・研究力の強化

＜1＞　教職員によるアシステンツァの実践強化

学生や保護者との関わり方を学ぶ機会を設けられませんでした。学生部が中心になり発生したトラブルを解決するために教職員間での共通認識事項を明確にし、協力体制を強化し、学生の良好な学校生活環境を十分ではないにしても確保しました。

＜2＞　退学者の減少

増加した退学者の数を減少させます。2023 年度は 35 人でした。さらなる減少を目指して、各学科で評価方法の見直しや認定試験の取りこぼしのないような指導方法の徹底が不十分でした。学生支援センターが中心となって合理的配慮の必要な学生をはじめカウンセリングの必要な学生や家庭環境等でサポートの必要な学生の支援に柔軟に対応することができました。

＜3＞　教育の質保証と向上

単年度ごとの学内での教育の質保証にむけたモニタリング、また自己点検のロードマップに則って定期的に自己点検評価と外部評価を行うことに着手できませんでした。また本校の教育・研究内容や課外活動を含む教育への取り組みを SDG’s 達成目標である 17 項目に照らし合わせ、持続可能な社会への貢献を意識した教育活動は産学連携活動で実施しました。また学習支援体制の強化、ICT を利用した学習のさらなる強化のためにネットワーク環境の改善を行いました。

（２）社会貢献力の強化

＜1＞　地域社会との連携

地域連携強化のために小中学生のための特別授業を公開し、依頼された学校に教員を派遣しました。地元広報誌（アレサ）制作による町田市小山地区の町内会、商栄会、商工会議所との交流活動や八王子市の「いちょう塾」の講座を継続しました。また相模原市・座間市の主催する市民大学の講座へも協力することや学校施設の市民開放を可能な限り進め、地域市民に対する文化拠点となるよう協力しました。「サレジオ高専地域交流協議会」との連携のなかで地域の必要性をさらに追及し、小山・小山ヶ丘地域での本校のプレゼンスを高めました。また町田市をはじめとする行政機関、全国信用金庫など外部機関とのネットワークを広げ、本校でしか受けられない教育や身につかない付加価値の創造は十分にはできませんでした。

＜2＞　産学連携の推進

大学コンソーシアム八王子への参加と活動はサレジオ高専の存在感を示す場となりました。地

域交流をさらに積極的に推進し、地域に立地する企業や自治体との交流・連携を密にし、社会実装教育を念頭においた連携による他高専に勝る独自性を強化して、本高専の地域における貢献度をあげました。

<3>　学校広報の推進

サレジオ高専の存在がさらに認知されるように発信力を強める取り組みを行いました。広報を通じて学内にある施設を使用して、本校が地域、企業との交流の場となるようにしました。またホームページの有用性を広げ、コンテンツの充実を図りました。ウェブネットワークを通じて企業や地域社会だけでなく卒業生とも広くコミュニケーションをとり、交流することで本校のプレゼンスを高めました。

（３）経営力の強化

<1>　教職員の業務遂行能力の向上

SD（Staff Development）システムを運用し、必要に応じて研修を実施しました。さまざまな部署での業務の内容の見直し、必要とされる能力の開発、向上に向けた動きを展開した人財育成は十分にはできませんでした。SMS（サレジオ・マネジメントシステム）の見直しと再構築には着手できませんでした。

<2>　受験者数の増加

令和 5 年度生募集では 168 名の入学者になりました。定員確保ができませんでした。2022 年度の反省から新たな募集活動、強化する必要のある募集活動を取り入れて 2023 年度の取り組みを行いました。継続的な定員確保のためにいろいろな工夫と努力をそれぞれの学科が実行し、学校全体では女子学生の人数の増加をねらって校内における女子学生の活躍の場を広げ、女性教員を積極的に採用しました。

<3>　財務計画

学生の在籍数が減少したために、今年度も収入の減少があり、予算も各部署 1 割強の削減を行って予算立てをしたために、内部留保資金の積み上げができませんでした。新入生の定員確保を行い、学校設備に関しても中期計画を立案し、光熱費高騰などの厳しい現実があるものの弾力的な資金運用とムダの削減にこれまで以上に意識的に取り組み、補助金等の獲得を行いましたが、十分な内部留保資金を確保には至りませんでした。

（４）特記事項：サレジオミッションの実践

<1>　司牧目標

サレジオ会の教育方針の基盤であるキリスト教的価値観を浸透させ、それに基づくドン・ボスコの精神の実践を強化するため以下のことを実施しました。

・月２回のチャプレン訓話
・モーニングトーク
・月例ミサ、チャペルの開放
・掲示板を活用した啓発

サレジオ小学校・サレジオ中学校

Ⅰ．令和５年度教育目標

Ⅰ．サレジオ家族ストレンナ

「ドン・ボスコの家族として　社会のよきパン種となろう」

「社会」というのは、子どもたちにとっては、家庭・学校・クラス・部活動・習い事・塾などの場である。その中において、サレジオの子どもとしてどのような存在であってほしいのか。サレジアンとして、フェルナンデス総長の言う「神の国のパンをふくらませ、良い味にする良いパン種」であってほしい。

広い視野を得るために、物理的にも学校の外に出て、学校外の人に出会い、学校外の事物に触れることによって、サレジアンとしてのアイデンティティを育てていきたい。そのことが、他の人に対して「よきパン種」となっていく基礎となるはずである。

これを踏まえ、今年度の教育目標は、

「ドン・ボスコの子どもとして、自分（たち）に閉じこもらず、他の人に心を開き、喜んで手を貸す用意ができている人になる」

とする。コロナ禍を経て、外部に出ていく行事も、外部の人を招く行事も、完全ではないが実施できるようになった。中学生は初めての赤い羽根共同募金にも協力することができ、視野を広げることができた。令和６年度は、さらに学校外での体験ができるような計画を立てていきたい。

２．司牧部

①カトリック学校としてのアイデンティティを深めるために。

a.祈りの機会を増やす。朝礼時に必ず唱えるようにした。

b.宗教行事で中学生（軽音部）が歌の伴奏で奉仕する。実施できなかった。

c.掲示板などに聖句やサレジオ会的すすめなどを掲示する。実施できた。

d.外に出ていく活動を模索していく。小平市福祉協議会の赤い羽根共同募金に参加。

②信徒・家族がキリスト教にゆかりのある児童生徒の司牧

a.集会を定期的に持つ。実施できた。

b.年２回程度の練成会・ミニ巡礼を実施する。　実施できた。

Ⅱ．児童生徒募集

１．在籍数

小学校	１年生	２年生	３年生	４年生	５年生	６年生	合計
令和４年度末	１４	１６	１２	１７	１６	２２	９７
令和５年度末	１４	１４	１６	１１ （転出１名）	１７	１５	８７ （８６）

中学校	１年生	２年生	３年生	合計
令和４年度末	２６	２１	２２	６９
令和５年度末	２３（転出１名）	２６（転入１名） （転出１名）	２１	７０ （６９）
			小中合計	１５７ （１５５）

２．令和５年度相談会・広報

小学校　「東京都私立小学校展」、「中央線沿線私立小学校合同相談会」、「西武線沿線私立小学校合同相談会」、「キリスト教学校合同フェア」実施できた。
学校説明会（校内、４回）、小金井市子育て冊子　実施できた。

中学校　「東京私学第１１支部合同説明会」、「東京都私学展」実施できた。
学校説明会（校内、３回）実施できた。

小中共通　位置情報データをもとにしたスマホ広告配信サービス、小平市市報、小金井市市報、小平市コミュニティバス時刻表、小金井市コミュニティバス時刻表実施できた。

Ⅲ．令和５年度重点課題

１．ICT 教育環境の整備促進

小学校中学校とも、令和５年度新入生より、一人一台端末を貸与する（学校リース）。６年で全学年が揃う予定。授業での使用法の研究と実践。

導入がうまくいかず、令和６年度に１・２年生に対して学校からの貸し出しに変更した。

Ⅳ．人事

小学校　新規採用　（教諭）内林瑞樹
退職　（教頭・教諭）垣内哲也

中学校　新規採用　（教諭）国語科　山越日南子
（非常勤講師）宗教科　深山光平、美術科　渡津光司、美術科　石橋ゆり
退職　（教諭）養護　越田那美子、
（非常勤講師）体育科　八木義光、宗教科　深山光平、美術科　渡部光司

１年目の教員３名、２年目の教員３名となり、22 名中６名となる。６名中５名が 20 歳代である。若いというだけでできることもあるので、自分の得意分野を生かしていってほしい。そのためにも若手教員のための研修を充実させたい。若手教員のための研修が十分に実施できたとはいえない。令和 ６ 年度の課題として残してしまった。しかし、若手教員一人ひとりは、様々なことに悩みながらも、持てる力を十分に発揮してくれていると思っている。

Ⅴ．感染症対策

①登校時間等のタイムスケジュールをコロナ前に戻す。実施できた。

②感染症対策は状況を見ながらになるかと思われるが、必要な対策はこれまで通りである。

５類移行後は、マスク着用・手指消毒は任意とし、換気や手洗いのみの注意とした。

Ⅵ．主な工事・修繕などの予定

①樹木管理（長期的に）計画的に進めている。

②グラウンド整備（2～3 年で）具体的な予定は立たず。

③中学校教室・理科室に学習用モニターを設置する。実施できた。

Ⅶ．その他

①令和５年度の新入生から順次、学校がリースする学習用 Chromebook を貸与し、授業の充実を図る。　　Ⅲ１参照

②配達弁当の注文ができるようにする。実施できた。

③ペーパーレスを意識して取り組む。随分意識してきたと思う。紙ではないが、電気料金も予算よりかなり低く抑えることができた。

目黒サレジオ幼稚園

サレジオ家族　年間目標（Strenna　2023）

「ドン・ボスコの家族として、社会のよきパン種となろう」

Ⅰ．教育方針

【園のことば】　きよいこころ　げんきなこども

（1）教育目標

・キリスト教の価値観と創立者ドン・ボスコの教育理念に基づき、自然豊かな広い園庭を中心とした環境と暖かい家庭的雰囲気の中で、のびのびとした活動を通して子どもたちの心の教育に力を入れる。

・ドン・ボスコの教育理念である「愛情（信頼）」「理性（納得）」「宗教（祈り）」を根本にして、家庭との密接な連携を通して子どもたちの成長に寄り添う。

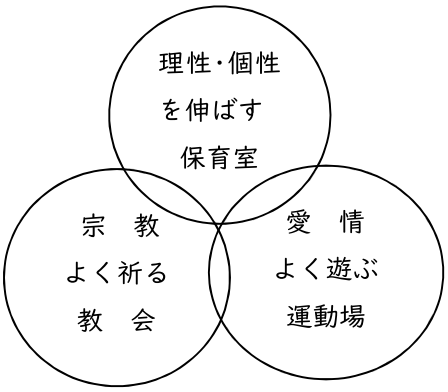
・幼児自身が愛されている体験を通して自ら神と人を愛する心を身に着け、豊かな品性と国際的素養を身に付け円満な人格形成を目指し、誠実な社会人になるように育成する。

＝学年のねらい＝

＜すみれ＞	（３歳児）	様々な環境に慣れ、園生活を楽しむ。
＜ゆ　り＞	（４歳児）	集団生活に必要な態度を身に付ける。 互いの気持ちを伝え合いながら友達と関わる。
＜ば　ら＞	（５歳児）	状況の判断力を養う。感謝と思いやりの心を育む。 好奇心を持ち、何事にも意欲的に取り組む。

(2) ドン・ボスコの教育の要約

子どもを教育するには、しっかり組み合わせた輪のような３つの場所が必要である。



----- 具体的にドン・ボスコの教育における宗教教育を実践するために
以下のようなことに取り組んでいく。
①日常の保育の中でのお祈り、シスターによる宗教の時間
②行事の中で：聖母祭、クリスマス会、創立者ドン・ボスコのお祝いなど
③保護者の希望者に向けて園長による月２回の聖書と祈りの集い、Sr.大澤の要理を行う。

（3）教師（保育者）のあり方

１．園の教育理念を深め、共通理解のもとに保育に取り組む。
２．一人一人の園児に積極的に関わり、子どもの状況をよく把握する。
３．子どもたちがのびのびと活躍できるような環境の整備を心がける。
４．思いやりの心とけじめのある態度を、教師自らが手本となって示す。
５．職員・園児・父母の相互間の報告、連絡、相談を密にし、常に反省する姿勢を持つ。
６．月１回、サレジオ会司祭から要理教育についての研修を受け、カトリックの精神を身に付ける。（令和５年度も、引き続きサレジオ教職員向けのオンライン講話を予定）⇒コロナ禍を経て、数年ぶりに年間を通して通常保育が可能になった。子ども同士のふれあいや保護者との関わりの機会など、この数年不足していた部分を取り戻すことができたことはよかった。職員の研修については、カトリック要理の機会を設けることができなかったので、次年度は意識的に取り組んでいく必要を感じた。

（４）　家　庭

１．年頭、また参観などの機会に、教育理念を全保護者に伝える。
２．家庭教育・幼稚園教育の大切さを理解して頂くよう、機会ある毎にお願いする。
（家庭と幼稚園の教育観の一致、協力のお願い。－公共ルールや、躾など－）
３．親自身が子どものお手本になるよう心掛けていただく。

（５）　運営・経営における時代のニーズへの対応

保育の充実・子育て支援の強化

１．保育時間・預かり保育時間の延長等

令和３（２０２１）年度から新たに夏期預かり保育を実施し、保護者のニーズに応えて保育時間延長の対応をしてきた。令和５（２０２３）年度は夏期預かり保育の期間を延長し、さらにこの方針を継続・発展させていく。

⇒夏期預かり保育を計15日間に増やしたことで補助金も出ることになり、保護者のニーズにより応えることができた。３年間の実施で経験値も増え、毎年工夫を重ねている。今後も改善の余地はあるのでより一層力を入れていくことを期待している。

２．注文弁当サービス、課外体操教室等、令和３年度から取り入れた施策を継続させ、

必要な改善を施す。令和 5 年度は課外体操教室を拡大し、課外活動後の預かり保育も利用できるように制度を見直す。また、英語教育の採用を検討していく。

⇒課外体操教室の日程と時間の拡大、また英語課外も導入したことにより、より多くの園児に学習と体験の機会を提供することができ、また、課外後も預かり保育を利用できることにして保護者の子育て支援に大きくつながる結果となった。

3．アプリを用いた保護者と園との相互連絡ツールを継続して活用し、保護者の更なる負担軽減を進めていく。

⇒園からの連絡の他に、保護者によるアンケートの依頼連絡等も園と連携してアプリを活用することもでき、引き続き保護者から高評価をいただいた。

4．保護者負担の軽減につながる行事の見直し等を継続的に行っていく。

⇒今年度はコロナ禍を経てまた通常の園行事がまた増えたことは事実だが、保護者の役割分担等については改善の工夫を行い負担軽減につなげた。またバザーに替わる保護者主催の行事においても園との連携を通して工夫して実施することができた。一方で保護者の就業、園との関わりの変化等もあり、保護者会の中心となる役員・委員の成り手が少なくなっている現状も感じた。

募集対策

1．魅力ある園生活をアピールするため、上に挙げたような子育て支援を意識した取り組みをさらに継続させ、必要な改善を施す。

⇒募集への危機感がきっかけではあるが、子育て支援に対する職員の意識が年々高まってきており、取り組みに対する積極性が生まれてきている。

2．従来の見学会や説明会のあり方、またパンフレット等を見直し、子どもたち、保護者に園の魅力がより伝わるように工夫する。

⇒パンフレットを新しく作り直した。業者選びから検討し、より魅力が伝わる良いものができた。また在園・卒園の保護者からの自発的な協力により、保護者の立場から園の魅力を発信する取り組みも実施できた。

3．未就園児に対する取り組みとして実施してきた体験デーを改善し、今後の未就園児クラスを実施できるようプレ保育に関する知識を深め、実践に移していく。

⇒未就園児クラスを通して一定の子供とその保護者との関わりが生まれ、それが園児募集につながった。今後は満3歳保育の実施も視野に入れて引き続き取り組んでいきたい。

4．小学校受験を検討する保護者にも意識を向け、隣接するサレジアン国際学園目黒星美小学校との連携、協力を模索し、実践していく。具体的には、星美小学校の先生を園に招いて保護者への教育講話等を実施する。

⇒教育講話は今年度も実施。また夏には年長組の子供たちの小学校見学ツアーを企画し、良い連携・協力を表すことができた。今後は職員間の交流等も視野に入れつつ、改善をしながら連携を進めていきたい。

５．教会での祈り等を通した宗教教育や自然豊かな広い園庭など、園の大きな魅力をPRするため、ブログやHPをより一層活用していく。

⇒ブログの発信は継続的に行った。新しく作り直したパンフレットにも魅力を伝える紙面を盛り込むことができた。HPのリニューアルは実施できなかった。

施設設備関係

１.施設の老朽化が加速し、安全面での不安がある為、営繕の職員が常に園内を巡回し、早急な対応をしている。教職員一同綿密に連携をとり、引き続き園児の安全に努めていく。

⇒今年度も多くの修繕必要箇所が出て、その都度対応した。

２．改善されたwifi環境をより活用し、講堂や保育室の音響設備等の充実を図る。また、インターネット、アプリを活用した職員の職務効率化を一層進めていく。

⇒音響設備について、長年の懸案となっていた音源のデジタルデータへの移行の作業を大きく前に進めることができた。また園の業務システムのアプリを活用し、今年度から園児の要録の記録をアプリ上で行うように移行できた。

３．急務となっている園舎建て替え計画を前に進めるため、法人本部の協力のもと定期的かつ頻繁に会合を重ねていく。

⇒会合の回数は期待ほど重ねることはできなかった。計画がなかなか前に進まない現状だが、何よりも園児の安全面を考慮し、スピード感を持って進めていくことを期待している。

職員の働き方、質の向上

１．この数年、コロナ禍においても最大限の配慮をしながら職員の働き方の改善に努めてきた。今年度も継続してこの取り組みをしていきたい。

⇒職員の多くが子育て世代でもあり、その理由による有給取得が増えている。職員間の良い協力体制ができているが、職員間の均衡にも考慮しつつ、働き方の質の向上を目指したい。

２．昨年度に引き続き、幼児教育現場の質の向上、教員の意識のさらなる向上を求め、研修の機会を活用する。特に、障がいを持つ子どもの指導方法、関わり方についての研修を通して、時代のニーズに合わせた保育の在り方を模索していく。

⇒障がいを持つ子どもについての研修の機会は持てなかったが、昨今の教育現場で起こっていることも考慮してプライベートゾーンに関する研修を全員で受けた。

３．危機管理対策の意識を高め、防災、防犯についてのマニュアル作成だけでなく、実践的体験的にも学べるように研修の機会を設ける。

⇒毎年３回行っている職員防犯訓練について、今後は子どもも参加して行うことも検討するようにと警察の方からの指摘を受けた。今後の取り組みを検討する必要がある。

Ⅱ．財務関係予算方針

［基本方針案］

園舎建て替え計画

１．園舎の建替え計画を具体的に進めていく。本部と連携して頻繁な会合を実施していく。合わせて、今後の幼稚園運営の在り方についても引き続き検討を重ね、サレジオ修道会と連携し計画を作成していきたい。

⇒頻繁な会合は実施されなかった。なかなか具体的な進展が難しい現状ではあるが、より力を入れて進めていきたい。

２．着工：３年以内

３．工事期間：約１年

４．総建築費：未定

地方公共団体補助金

１．東京都補助金、預かり保育補助金ともに、前年度と同額を計上する。

⇒前年とほぼ同額を獲得した。

２．東京都私立幼稚園経常費補助金については、園児数、教職員数を算定の上、予算に計上する。また、特別補助についても積極的に取り組み、補助金を獲得していきたい。

⇒特別補助についても補助金を申請した。

３．令和５年度から夏期預かり保育の日数を 15 日間に増やし、補助金を申請する。

⇒今年度、預かり保育補助金の夏期休暇の預かり保育を 15 日実施して補助金を申請した。

経費について

１．人件費については、加配が必要な園児も増えている為、補助の教員を必要に応じ配置している、今年度も必要な経費を計上する。

⇒今年度も年度途中で補助の教員の補充の必要が生じたが、現職員の紹介等によって幸いに良い人材が見つかっている。

２．引き続き、修繕が必要な箇所が多くあると見込まれ、必要な経費を計上する。

⇒修繕箇所は毎年増加傾向にある。その都度対応しているが、経営上の課題として今後より一層、園舎建替え計画と合わせて考えていく必要を感じる。

足立サレジオ幼稚園

Ⅰ.教育目標

☆ 神さまに愛されている子どもたちとともに生きる幼稚園を目指す。

☆ 足立区江北の地域においてサレジオ幼稚園がイエス・キリストの愛を告げる場所になることを目指す。サレジオ家族として「社会の善きパン種となる（令和五年のサレジオ家族ストレンナ)」ことを目指す。

Ⅰ．目標達成の方法

A. サレジオ会の事業として、ドン・ボスコの教育法の三本柱である「宗教・愛情・納得」の実践に励む。

① 宗教、道徳教育に力を入れる。

・本年のサレジオ会のストレンナ（年間目標）がサレジオ家族として「社会の善きパン種となる」こと、つまりサレジオ幼稚園の園児と職員たちが社会にとって良い影響を与える存在となるように導く。この目標を実践できるように園児たちが理解できる言葉、考え方に置き換えて保育において実践する。

・神さまの存在が信じられるように、教会でのお祈りやお話の中で導く。

・自然や音楽、味わうものなどに感動できる子どもに導く。（SDGｓ）

・神さまが造られたこの地球という世界を大事にする気持ちを育てる。

⇒こどもたちに関心のある虫や自然の動植物についての話などをすることで、神様の存在や地球環境について意識を持ってもらうようにできた。

② 常に子どもに寄り添い、愛情に満ちた指導をする。

・愛され、大事にされている実感が子どもに伝わるようにかかわる。（優しい言葉かけ、穏やかな振る舞い、優しい視線など）

⇒子供たち同士も職員の言動を見て、穏やかに対応していた。

③ 子どもが納得できる導き、かかわりを行う。

・子どもの話・気持ちをよく聞き（理屈に合わなかったとしても)、状況を把握して子どもの納得が得られるように、わかり易く優しく導く。（子どもなりの考え方に一定の配慮をする）

⇒実践できていた。

B. 小学校に入る準備をする。地域社会に仲間入りする準備をする。

① 家庭での少人数の生活体験から幼稚園のクラスの友だちとのかかわりに変化する子どもたちを、忍耐強く支え導く。

② 自分の気持ちや考えを上手に伝えられる子ども、相手の気持ちや言葉を上手に受け止められる子どもを育てる。

③ 上手な挨拶ができるようにする。

④ 場面に応じた適切な言葉使いを教える。

⇒全てに対して、繰り返し声掛けをして経験を重ねていった。

Ⅱ．計画の実践

Ⅰ．保育活動

①　日常保育（保育の基本は楽しい幼稚園・行きたくなる幼稚園である）

・新型コロナ感染症が収まりつつあり、医療的には第五類に位置付けられるので、園児と職員はマスクを外して保育を行う。これは子どもたちが職員の口元の動きから発音の正確さを学び、またその表情から適切な表情の表し方を学ぶためである。

⇒マスクを外して保育を開始したが、コロナ感染やその他感染症も流行でマスクをして保育する期間が長くなった

＊年少ばら組

・この子どもたちは生きていく上での基本的なことをマスターするのが基本である。生まれて初めてのことばかりなので、そのことを念頭において辛抱強く導く。

他の子どもとのトラブルも多発するので、自分の気持ちを言葉で表現できるように導く。

＊年中ひまわり組

・自意識が出てきて他の子どもとの衝突がよくおこるので、友達とのかかわり方を学ぶ時期である。

＊年長ゆり組

・年長の意識が出てきて小さい子どもたちと関わりたい意識が増えてくる。また小学校への不安を抱えた時期でもある。自分を信じていける心を育てたい。

⇒全学年目標に向けて意識を持って保育を実践していった。保育をする中で悩むことも多々あったが、教員同士で共有をして担任だけの負担にならないようにしていった

＊各年齢の発達支援においては、幼少期の特性を考慮して対応し、過度の要求は慎む。

＊バス通園の安全管理に努める。

・ドライブレコーダー、バスの安全装置などを装着することはもちろんのこと、運転手、添乗職員の安全意識を高めて事故を防ぐ。また園児の出欠状況を確実に把握し、不明な時は時間を置かず確認する。

⇒ドライブレコーダー、安全装置は設置できた。また、毎日の送迎の園児の人数確認は運転手、乗車教員、出迎える園長と複数で徹底して確認をしていった

＊防犯意識をもって保育にあたる。門の施錠を確実に行う。

⇒意識を高くもち必ず施錠できた

②　年間行事

・昨年度は新型コロナ感染症の影響で大部分の全体行事が分散実施せざるを得なかった。今年度は感染対策の縛りが無くなったので、自治体等の動向を見ながら平常の実施を行っていきたい。

・バザーについてはコロナ禍で三年間行っていなかったので、現在の保護者にはその経験者がほとんどいない。そのために過去に行っていた規模では開催できないと思われるので、過大な負担にならない規模で行っていきたい。またカトリック足立教会との共催な

ので、意思の疎通を図りながら実施に向けて動いていきたい。
・毎年行っているものについて惰性的にならないように工夫する。
⇒バザーは計画通り母の会主催ではなく幼稚園主催でできる範囲の規模に変更できた。保護者の意識が「大変なバザー」から「楽しむバザー」に変化するようにこれからも考えていきたい

③　縦割り保育

・幼稚園に入園したての子どもたちは自分の家族以外の人や子どもたちとの接し方をまだよく知らないので、園児たちがその接し方を学ぶ良い機会となる。
・縦割り保育は自他の区別や互いを思いやる情操に大変有効なので、年間を通して実施していきたい。
・職員の発案や子どもの希望を通して楽しい保育を目指す。
・大きな行事に左右されない火曜日などに実施していく。
・子どもたちも楽しみにしている。
⇒縦割り保育は実践できた。一日一緒に過ごすことで段々と関わりが深くなっていった。朝会のゲームもチーム対抗で行ったので年長組がリードしてくれた
子どもたちにとってよい経験になったと思う

④　預かり保育の実施

・預かり保育の時間を通常保育の日には、保育時間終了後 14:30 から最長 17:30 まで実施する。
・長期休暇中の預かり保育は夏休み、冬休み、春休み共 8:40 から 14:30 まで実施する。11：30 降園保育の日にはその後は通常預かり（有料）保育として 17:30 まで実施する。
・保護者のニーズに応えるために、預かり保育の時間を延長することも検討し実現したい。
⇒長期休暇中の預かり保育時間を 8：40 から 17：30 まで延長して実施することができた

⑤　保育参観の実施

・コロナ禍で今まで十分に実施できなかったが、保育中の我が子の様子を見たい保護者は多いので、できる限りその要望に応えて実施していく。
⇒1 回だが実践できた。保護者の存在を隠して普段の様子を見てもらうように工夫した

⑥　満三歳児クラス運営を視野に、保育室の増設を行う。

・三年保育を継続していくためにはその年齢以下の園児の確保が必須となっている。そのために年少園児クラスの下に週五日の満三歳児クラスを運営したい。
・そのためには現在の保育室の数では足りないので、増設建築したい。
・その保育内容、職員体制などの準備も同時に行っていく。
⇒法人本部のお力をお借りしながら進めることができた。しかし、申請に時間がかかり工事の開始が遅れてしまった。完成は 6 月末の予定。夏休みに引越し作業を行い 2 学期から使用できるようにしたい

令和五年度はひよこ組、いちごクラブを昨年度同様に行っていく。
⇒ひよこ組の人数が少人数だった。引越しを含めた問い合わせが少なく年少組の入園者が

11名と危機的な人数になってしまった

・募集のためにはHPなどを充実させていく。特にスマートフォンに対応したHP作る。

⇒実施できなかった

２．職員対応ならびに財務関係予算の方針

①　職員の確保

・令和五年度用には１名の本務職員を確保できた。大事に育てていきたい。

・令和六年度からは満三歳児クラスも計画しているので他に１名の本務職員の確保が必要である。実習生などに積極的に声を掛けていく。

・支援の必要がある園児も増えてきたので保育補助の職員を確保する。

・保育の中で生き生きと働き活動する職員の動画や声をHPなどに発信していく。ある意味お金を掛けなければ職員は集まらない時代になった。

・職員の確保はまた離職者をなくすことが大事であるので、離職に繋がらないように長く勤められる職場の環境（勤務内容、勤務時間、給与）を真剣に整備する。

⇒令和６年度の年少組入園者が少人数だったので本務教員の採用は行わなかったが満三児クラスの為の兼務教職員の募集を行ったがなかなか採用に繋がらずとても苦労した。卒園児の保護者に声をかけどうにか確保できた

②　有給休暇の取得の改善

・職員待遇も大事なポイントなので、早めの帰宅ができる体制を作り、有給休暇の取得をしやすくする。有給休暇の残余分の扱いについて課題があるようなので法人本部と相談して適切に説明していきたい。

⇒有給休暇の残余分の扱いについて解決はできていない。足立だけの問題ではないと思うので姉妹園も状況や取組みなども参考にしたい

・保育後の清掃をシルバー人材センターに委託して、職員の負担を軽くし、早めの帰宅に繋げる。

・長期休み時の自宅研修ということについて今後は有給休暇として取得できるように待機の縛りをなくしていきたい。また学期中の週日にも職員間の理解と協力を得て有給休暇を取得できる職員体制を整える。

⇒自宅研修を廃止して有給休暇として取得することができた。学期中の週日有給取得は体調不良が大半だったのでそれ以外でも取得できたらリフレッシュにも繋がったかなと思う

③　保育後の仕事内容と退勤時間につて、もう一度見直し、適時退勤に繋げる。

⇒行事前は遅くなってしまうが退勤時間の意識は高くなってきていると感じる

④　職員研修

・支援の必要な園児たちのために各学期一回、臨床心理士を招いての職員研修を行い、事例検討を行う。

⇒各学期に１回ずつの実施はできなかったが、足立区の巡回相談を利用して助言を受けた

り、各教員が研修を受講した

・昨年度はコロナの影響もあってサレジオ家族教職員養成講座に参加できなかったので、研修プログラムに落とし込んでしっかり参加する。

⇒参加することができなかったので、６年度は必ず受講できるように皆で共有していく

・保育内容も日々変わってきているので遅れないように様々な研修会に参加していく。

⇒足立区主催の年齢別の研修会や私学財団主催の新人研修には参加するようにした。

⑤　園庭の砂ぼこり対策

・園庭に隣接する民家から園庭の砂ぼこりが家の中に入ってくるのでその対策を要求された。今は応急的にフェンスにビニールシート貼って対応しているが、抜本的には園庭の芝生化が必要であると思う。人工芝は資金的に困難である。天然芝は管理がむつかしいと言われるが、運動に強い芝生が開発されており幼稚園児のような運動量では大丈夫だと言われている。要は資金。現在東京都では私立学校の校庭に天然芝を植えるところに対してほぼ全額の補助を出すようになっている（東京都私立学校運動場芝生化補助金交付事業―令和四年度要綱)。足立地区のある幼稚園も同じ補助を受けて天然芝を植えている実績があり、園児たちが裸足で園庭を走り回っていると聞いている。持ち出しはほとんどない。天然芝のある幼稚園として園児の募集に活用できるのではないか。埃っぽい足立サレジオ幼稚園としては導入したい。

⇒導入には至らなかった

⑥　保育室増設

・資金確保

現在足立サレジオ幼稚園は新園舎建設で借り入れていた資金を返済中で、本年度中に終了する。返済能力はあるので必要な資金を借り入れたい。本部と相談しながら進めていきたい。

・駐車場の場所に建てるとして、一階建てか、二階建てか検討中である。

保育室入口に雨が降り込むことがあったり、西日が差し込んで保育室が暑くなる為、増築と一緒にオーニング（日よけシェード）工事も考えたい。それと一緒に未就園児クラスのデッキと園庭の段差が大きい為、他のクラスのようにコンクリートの段差を設置したい。

⇒毎年計画にはあるがオーニングは高額なのでなかなか設置できていない。コンクリートの段差は増築工事の時に設置することになった

⑦　園バス運用の園児の安全のために、ドライブレコーダー＆バスの安全装置を購入する。

⇒２台ともに設置できた

３．その他

①　カトリック足立教会とのコラボレーションで奇数月の第二土曜日に「オラトリオ足立」を行う。

・幼稚園の園庭と教会の集会室を開放して、近隣の子どもたちや大人たちに来てもらう活動を始めた。２月 11 日には子どもと大人合わせて 60 名が参加してくれた。募集のため

に、幼稚園と教会があり誰でも行ける場所としての幼稚園を認知してもらう作戦。また足立区内の商店街とのコラボレーションで同じ土曜日の午前中にはキッチンカー＆マルシェが駐車場にやってきて近隣住民も集まってくる。３月 11 日の土曜日には消防車がやってきて AED の講習会をした。

⇒奇数月に開催できた

町田サレジオ幼稚園

サレジオ家族　年間目標（Strenna　2023）

「なにごとも愛によって行おう」

町田サレジオ幼稚園　年間目標

愛されていることを実感できる教育を行おう

Ⅰ．教育目標

創立者ドン・ボスコの教育理念である　愛情(信頼)･道理(納得)信仰(祈り)を基本とし、家庭と密接に協力しながら種々の経験を通して生きる力を育む。

南多摩の自然に囲まれた環境の中で明るくのびのびと活動し明るい心、親切な心、素直で正直な心を育てる。
幼児自身が愛されている体験を通して自ら神と人を愛する心､豊かな品性と国際的素養を身に付け円満な人格形成を目指す。

1．隣接する小山内裏公園や白山公園、広くて安全な園庭での戸外遊びを通して自然とふれあい、からだを使って健康に過ごす。
2．異年齢間の交流を多く持ち､年長者は年下をいたわる心､手本になれるように行動する心、年少者は年上への憧れから挑戦しようとする心を育てる。
3．発達が遅く、ケアの必要な数名の園児への対応とその他の園児のケアのバランスを考え、サポート体制を整える。

※　3については必要に応じて、サポート体制をとる。なお、サポートの必要な園児については専門機関（島田療育センター、町田市発達支援センター、相模原市発達支援センター、　リタリコ民間の発達支援センターなど）との連携を取りながら教育を行う。

保育内容

①行事

・職員間の係分担を明確にし、それとともにわからないことは教えあい経験の浅い職員へのサポート体制をしっかりととる。
・行事ごとに目的、手立て、流れ等の評価、反省をし、マンネリにならずかつ良いところは継続し次の活動に生かす。(行事の数、進め方、制作の見直し等)
スポーツへの興味の拡大（野球教室ジァイアンツアカデミー、町田ゼルビアサッカー教室、デフサッカー日本代表によるサッカー教室、元日本代表によるラグビー教室）
警視庁騎馬隊による乗馬体験、（交通教室と並行して）

②縦割りクラス活動の通年化

・５月より満３歳クラスが開始されるにあたり１年を通して毎週水曜日に満３歳を含めた６クラスの縦割りクラスで保育をする。（運動会と発表会時を除いて年２３回実施）

③宗教・常に神様に守られていることを実感し、神様と人に感謝する心を養う

④環境への取り組み

・年長組を中心に年間を通してひき続き活動する。

・食ごみからの堆肥→畑→野菜栽培（段ボールコンコンポによる食べカスからの土壌つくり）

・ごみ講座を受ける（町田市環境資源部３R 推進課に依頼）

・デフリンピック選手との交流（聾の方との交流）

2.情報発信

･保育の中で生き生きとして活動する子供たちの様子を今まで以上に保護者のみならず多くの人にホームページやブログ、インスタグラムにて発信する。インスタグラムの反応は大きく未就園の親子の活動時、毎回楽しみにみているという声も多く聞いている。

＜継続事項　新型コロナ感染症への感染対策として＞

※検温の徹底（登園前の自宅で検温はアプリにて保護者が入力　昼食前に全員検温）
飛沫感染防止の為にマスクの着用は　２０２４年５月からの５類以降から個人の判断とする。

※手指消毒（入室時と食事前）

※遊具や保育室および共有箇所（トイレ、手洗い場、階段、玄関等）清掃の徹底

※適切な換気（2022 年秋から空気清浄機を各保育室に設置済）

1.　募集に関して　―

園則の定員を確保することが目標であり 2024 年度入園の募集は３歳児５０名満３歳児 10 名の募集活動を展開した。２０１９年１０月からの保育の無償化以降、年を追うごとに「満３歳児」の受け入れが町田市、八王子市、相模原市周辺地域の主流となっている状況を鑑み、2023 年５月１日より「満３歳児クラス」を新たに開設した。未就園児クラスの担当者と密に連携を取りながら運営していった。初めての試みでいわゆる 2 歳児がどこまでできどのように成長していくか模索し、目の前の子供を見ながら活動を展開していった。今までの保育の経験をもとに検討し運動会や発表会なども無理のない形で参加することができた。この経験をもとに 2024 年度も経験と工夫を凝らしながら進めていく。

２０２４年５月１日現在園児数。

満３歳児１４名（後日２名追加）３歳児３０名　４歳児２８名　５歳児４６名　合計１１８名

未就園児はプレクラス(親子分離)としてのこばと組週２回のクラスを２クラス例年通り行った。同年齢でのペンギン組（週１回の親子クラス）も入園希望者の多様なニーズの受け皿として行っカンガルー広場（保育室開放）は水曜日以外毎日開設。地域の子育ての支援としていろいろなバリエーションのある教室を開き参加人数の増加に取り組み、より早い段階で幼稚園を知り本園へ

の興味や関心を持ってもらう。（０歳、１歳親子対象）
＜園児募集につながる子育て支援の充実＞別紙参照
①バリエーション豊富な子育て支援
　０歳児から在園児、卒園児（兄姉）をも含めた幅広い子育て支援の実施
②　園児募集に直結するプレスクールの充実とともに子育ての相談に随時応じ信頼関係を作る。説明会を８月から２月まで毎月行う。
③　園庭開放、保育への参加、保育室開放等を毎月切れ目なく行い、なおかつプレスクール以外の無料で実施している活動に関しては町田市子ども生活部子育て推進課が毎月発行している町田市子育てひろばカレンダーに昨年度同様記載を依頼する。（町田市公式ホームページにもリンクしている）
④　八王子の子育て施設に毎月の未就園児の予定をおいてもらう。（八王子市南大沢子育て支援センター）
⑤　在園児には預かり保育の充実（例年通り）
　早朝保育（保育開始前８：００から９：００まで）
　長期休み中の預かり保育と預かり時間の延長（８：００～１８：００まで）
　参加者が多い場合は複数担当の配置。
⑥　地域の子どもセンターで行っているイベントに園長が出向き地域の乳幼児やその保護者と交わりを持ち本園の特徴を説明し興味を持ってもらう。（地域の子育てセンター、０，１，２歳児対象の保育所に出向いた）
⑦　町田市堺地域子育てネットワーク会議および研修に参加し、地域の中の幼稚園として子育て環境や子育て支援についての意見交換をし、園の存在価値を広める。
⑧　土曜の広場
　対象どなたでも。４月から毎月実施。初めての方にそのつど声掛けをし、パンフレットを渡し興味があり希望者には園内を案内した。
―　教員の養成　―
　学院長による教職員への要理を継続する。これを通してカトリックについてとカトリック・ミッションスクールへの理解を深める。また、職員全員でサレジアンファミリー研修に年間を通してズームで参加できるように時間を確保した。
学年の担任同士で経験者がイニシアチブを取り、園長、主任の助言の下、新任を育成する。さまざまな教育機関（全国カトリック幼稚園連盟、私学財団研修、東京都私立幼稚園協会研修、町田私立幼稚園連盟等）が開催する幼稚園教諭の研修会に積極的に参加し、現場に学んだことを活かす。

Ⅱ．財務関係予算方針

施設関係　　建物や遊具の改修については、突発的なことで園児に危険を及ぼす状況にある場合は速やかに何よりも優先して修理等を行う。
備品調達　　開園して９年が経過し、大型の遊具の購入の予定はないが必要に応じて購入して

いく。

広報関係　本園の教育の信頼度、知名度を上げるための具体的な広報活動を行う。職員の発想や意見を吸い上げ、周囲の幼稚園の情報の収集、地域の情報、在園する園児の父母たちからの情報（アンケート）を収集し、ニーズを把握し、サレジオらしさを大切にしながら今後も地域に根ざした幼稚園を目指す。

置くのに場所を取らない名刺サイズの小さな案内カードを作り地域の商店やスポーツクラブ、またさらに周知を広げるために大型マンションに案内を投函した。（大型マンション１７名のうち新入園児６名。）

2023（令和 5）年度未就園児および地域活動一覧　町田サレジオ幼稚園

名称（担当）	対象(年齢)	申込方法	費用	内容	活動日
ベビーマッサージ （ｱｲﾘｽ代表 片山千恵講師）	生後３ヶ月 ～10ヶ月	必要 （各回定員 12 組）実施月初日 10 時より電話受付（除土日祝）	オイル代 300 円	ベビーマッサージ 母子で癒しの時間を過ごしましょう。 途中授乳休憩あり	年４回 ５月 ８月 11 月 ２月
季節の手形足形アート （ころりんこ 渡邉美穂子講師）	０歳～２歳まで	必要（各回定員 12 組）実施月初日 10 時より電話受付（除土日祝）	材料費　300 円	講師の先生と楽しく親子でアートに挑戦	年４回 ４月 ７月 10 月 １月
親子で体操 （3B 体操講師 今井　美帆）	歩ける ０ 歳児から未就園児親子	必要（各回定員 12 組）実施月初日 10 時より電話受付（除土日祝）	無料	親子で体を動かして楽しみましょう	年 10 回 4，5，6，7，8，9，10，11，１，２月
カンガルー広場 （園長）	０歳～２歳まで （未就園親子）	不要	無料	※保育室開放 乳幼児親子の自由遊び （応子育て相談）	毎週月火木金 10:00～11:30

エンジェルクラブ ～ＨＯＷＤＥＥ （はじめまして）～	2021年４月２日から2022年４月１日　１歳児親子 10月より 2022年４月２日以降で満 １ 歳になった方も参加できます。	必要　2023 年 ２月１日(水) 10:00 より電話受付	入会時のみ 300円(名札　保険) 毎回の参加費 無料但し教材の準備のため前日までに予約制	お母様の子育て応援のクラブ。一緒に幼稚園でいろいろな活動を楽しく過ごしましょう	年 15 回 水曜日に開催 11:00～12:15
ペンギンクラス （園長）	2020年４月２日から2021年４月１日　２歳児親子	５組中５人入園	募集案内をご覧ください	前期 親子教室 後期 母子分離教室	前期５月～10月 11回 後期11月～３月 ９回 9:30～10:45 水曜日実施
こばとクラス/母子分離 （担当）杉崎　関根	2020年４月２日から2021年４月１日　２歳児	20組中20人入園	募集案内をご覧ください	母子分離保育	月木、火金の ２コース 年間約60回
コアラの日(保育体験)	2020年４月２日から2021年４月１日　２歳児	必要（各回定員15組）	無料	幼稚園体験、先生や園児と遊びましょう	保育体験 10：30～11：30 ５月　６月
園庭開放	未就園児親子	不要（雨天中止）	無料	幼稚園のお兄さんお姉さんと一緒に遊びましょう	年10回市の子育て広報にて

土曜の広場（地域開放） 園長　長山	在園児その家族（両親、祖父母、兄姉）近隣の小学生および保護者 未就園児親子の皆様	不要	無料	昔遊び　園庭遊び 保育室開放（※とおなじ）	4、５，６，７月は月２回 ８月から３月まで月１回 年間16回 土曜日開催

上記の他に地域の高齢者ボランティアクラブの方（読み聞かせ、手遊び、ふれあい遊び）７名による親子ふれあい遊びの会を10月より月１回実施(町田市高齢福祉課　町田市社会福祉協議会町田ボランティアセンター主催　町田市いきいきポイント活動受け入れ団体に承認)

学校分析表　データ入力シート（法人全体用）

学校法人育英学院

注2.　薄緑色部分と青字は自動計算されるので入力しないこと。赤字は、各自入力。
注3.　教育研究経費と管理経費が経費１本のとき（神奈川県など）は、教育研究経費欄に入力する。
注4.　＊の付いている科目は、計算書類の金額を入力する。
　　帰属収入の合計・人件費・消費支出の合計は、退職財団交付金収入控除後の金額になる。
注5.　△退職金収入・△教育経費の減価償却額・△管理経費の減価償却額の欄は、マイナス表示で入力する。

１．消費収入・消費支出の推移（消費収支計算書より）

１）当学校法人のデータ

（単位：千円）

	元年度	構成比率	２年度	構成比率	３年度	構成比率	４年度	構成比率	５年度	構成比率
納付金	1,180,429	69.7%	1,220,917	71.2%	1,172,805	70.5%	1,155,018	68.7%	1,097,629	67.5%
補助金	422,615	24.9%	421,440	24.6%	414,216	24.9%	428,709	25.5%	426,080	26.2%
寄付金	18,467	1.1%	8,653	0.5%	8,408	0.5%	11,222	0.7%	19,404	1.2%
その他事業活動収入	72,465	4.3%	64,344	3.8%	69,120	4.2%	85,182	5.1%	83,652	5.1%
＊修正前事業活動収入の合計	1,766,433	—	1,785,007	—	1,700,631	—	1,753,445	—	1,659,839	—
△退職金収入	△ 72,457	—	△ 69,653	—	△ 36,082	—	△ 73,314	—	△ 33,074	—
事業活動収入計	1,693,976	100.0%	1,715,354	100.0%	1,664,549	100.0%	1,680,131	100.0%	1,626,765	100.0%
＊修正前人件費	1,204,076	—	1,202,697	—	1,161,850	—	1,219,404	—	1,150,227	—
人件費	1,131,619	66.8%	1,133,044	66.1%	1,125,768	67.6%	1,146,090	68.2%	1,117,153	68.7%
教育研究経費	531,853	—	452,344	—	485,359	—	510,164	—	511,340	—
△教育経費の減価償却額	△ 247,524	14.6%	△ 181,365	10.6%	△ 169,479	10.2%	△ 181,586	10.8%	△ 181,535	11.2%
差引教育研究経費	284,329	16.8%	270,979	15.8%	315,880	19.0%	328,578	19.6%	329,805	20.3%
管理経費	141,305	—	110,440	—	130,384	—	133,150	—	142,548	—
△管理経費の減価償却額	△ 39,841	2.4%	△ 32,516	1.9%	△ 34,250	2.1%	△ 32,173	1.9%	△ 31,944	2.0%
差引管理経費	101,464	6.0%	77,924	4.5%	96,134	5.8%	100,977	6.0%	110,604	6.8%
支払教育管理経費	385,793	—	348,903	—	412,014	—	429,555	—	440,409	—
減価償却額	287,365	—	213,881	—	203,729	—	213,759	—	213,479	—
その他事業活動支出	3,337	0.2%	6,849	0.4%	3,059	0.2%	3,786	0.2%	7,620	0.5%
＊修正前事業活動支出計	1,880,571	—	1,772,330	—	1,780,652	—	1,866,504	—	1,811,735	—
事業活動支出計	1,808,114	106.7%	1,702,677	99.3%	1,744,570	104.8%	1,793,190	106.7%	1,778,661	109.3%
純資産増加額	△ 114,138	-6.7%	12,677	0.7%	△ 80,021	-4.8%	△ 113,059	-6.7%	△ 151,896	-9.3%

２）平均のデータ

「今日の私学財政　南関東平均」（各a/c÷サンプル数）

（単位：千円）

	元年度	構成比率	２年度	構成比率	３年度	構成比率	４年度	構成比率
納付金	1,125,642	61.1%	1,101,000	60.0%		######		#DIV/0!
補助金	476,928	25.9%	509,777	27.8%		######		#DIV/0!
寄付金	31,250	1.7%	26,888	1.5%		######		#DIV/0!
その他事業活動収入	209,501	11.4%	196,186	10.7%	0	######	0	#DIV/0!
事業活動収入計	1,843,321	100.0%	1,833,851	100.0%		######		#DIV/0!
人件費	1,129,750	61.3%	1,095,111	59.7%		######		#DIV/0!
教育研究経費	534,107	—	525,259	—		—		—
△教育経費の減価償却額	△ 186,785	10.1%	△ 183,111	10.0%		######		#DIV/0!
差引教育研究経費	347,322	18.8%	342,148	18.7%	0	######	0	#DIV/0!
管理経費	222,214	—	203,629	—		—		—
△管理経費の減価償却額	△ 25,571	1.4%	△ 26,000	1.4%		######		#DIV/0!
差引管理経費	196,643	10.7%	177,629	9.7%	0	######	0	#DIV/0!
支払教育管理経費	543,965	—	519,777	—	0	—	0	—
減価償却額	212,356	—	209,111	—	0	—	0	—
その他事業活動支出	56,750	3.1%	22,815	1.2%	0	######	0	#DIV/0!
事業活動支出計	1,942,821	105.4%	1,846,814	100.7%		######		#DIV/0!
純資産増加額	△ 99,500	-5.4%	△ 12,963	-0.7%	0	######	0	#DIV/0!

（学校法人全体の状況）

１．事業活動収入・事業活動支出の推移

表1-1.　事業活動収支計算書　　（単位:千円）

科目＼年度		当校のデータ									
		元年度		２年度		３年度		４年度		５年度	
		金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率
事業活動収入	学生生徒等納付金	1,180,429	69.7%	1,220,917	71.2%	1,172,805	70.5%	1,155,018	68.7%	1,097,629	67.5%
	補助金	422,615	24.9%	421,440	24.6%	414,216	24.9%	428,709	25.5%	426,080	26.2%
	寄付金	18,467	1.1%	8,653	0.5%	8,408	0.5%	11,222	0.7%	19,404	1.2%
	その他事業活動収入	72,465	4.3%	64,344	3.8%	69,120	4.2%	85,182	5.1%	83,652	5.1%
	事業活動収入（A）	1,693,976	100.0%	1,715,354	100.0%	1,664,549	100.0%	1,680,131	100.0%	1,626,765	100.0%
事業活動支出	人件費	1,131,619	66.8%	1,133,044	66.1%	1,125,768	67.6%	1,146,090	68.2%	1,117,153	68.7%
	教育研究経費	284,329	16.8%	270,979	15.8%	315,880	19.0%	328,578	19.6%	329,805	20.3%
	教育研究経費の減価償却額	247,524	14.6%	181,365	10.6%	169,479	10.2%	181,586	10.8%	181,535	11.2%
	管理経費	101,464	6.0%	77,924	4.5%	96,134	5.8%	100,977	6.0%	110,604	6.8%
	管理経費の減価償却額	39,841	2.4%	32,516	1.9%	34,250	2.1%	32,173	1.9%	31,944	2.0%
	その他事業活動支出	3,337	0.2%	6,849	0.4%	3,059	0.2%	3,786	0.2%	7,620	0.5%
	事業活動支出（B）	1,808,114	106.7%	1,702,677	99.3%	1,744,570	104.8%	1,793,190	106.7%	1,778,661	109.3%
純資産増加額（A)-(B)		△ 114,138	△ 6.7%	12,677	0.7%	△ 80,021	△ 4.8%	△ 113,059	△ 6.7%	△ 151,896	△ 9.3%

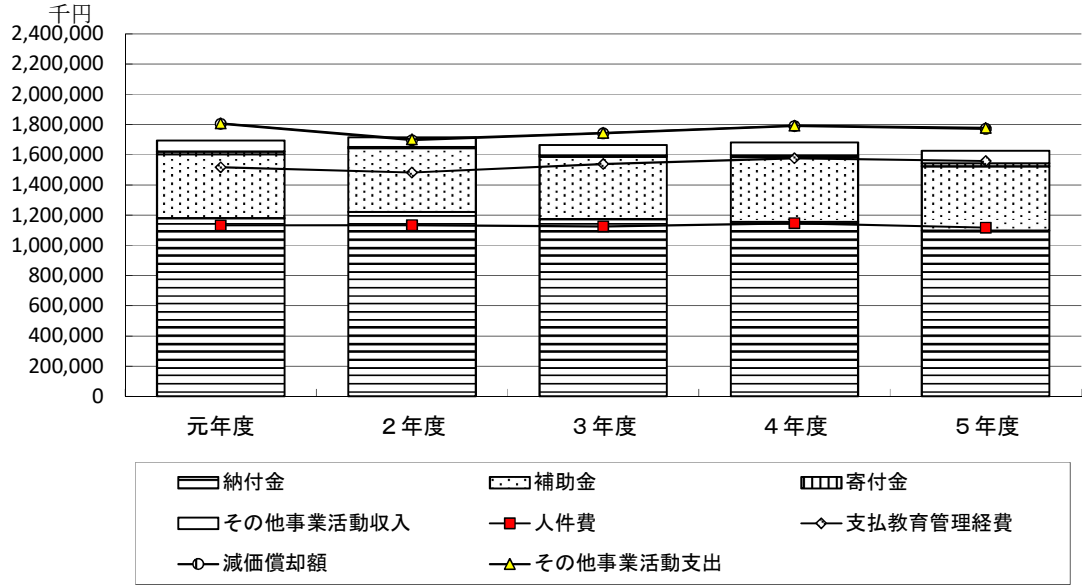
＊ただし、退職金収入の額を事業活動収入の合計、人件費、事業活動支出の合計から控除しています。

表1-2 事業活動収支計算書　　（単位:千円）

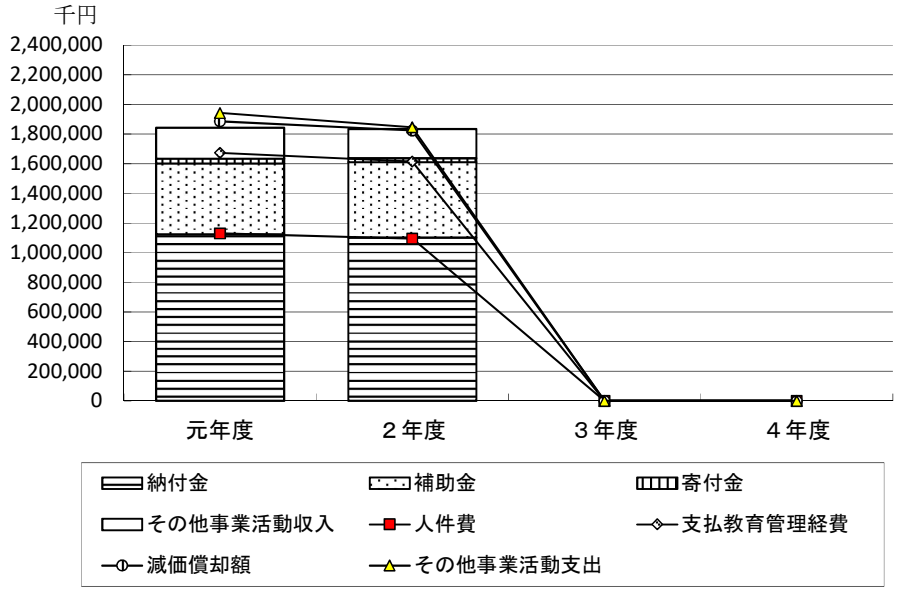
科目＼年度		平均のデータ							
		元年度		２年度		３年度		４年度	
		金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率
事業活動収入	納付金	1,125,642	61.1%	1,101,000	60.0%	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
	補助金	476,928	25.9%	509,777	27.8%	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
	寄付金	31,250	1.7%	26,888	1.5%	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
	その他事業活動収入	209,501	11.4%	196,186	10.7%	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
	事業活動収入（A）	1,843,321	100.0%	1,833,851	100.0%	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
事業活動支出	人件費	1,129,750	61.3%	1,095,111	59.7%	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
	教育研究経費	347,322	18.8%	342,148	18.7%	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
	教育研究経費の減価償却額	186,785	10.1%	183,111	10.0%	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
	管理経費	196,643	10.7%	177,629	9.7%	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
	管理経費の減価償却額	25,571	1.4%	26,000	1.4%	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
	その他事業活動支出	56,750	3.1%	22,815	1.2%	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
	事業活動支出（B）	1,942,821	105.4%	1,846,814	100.7%	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
純資産増加額（A)-(B)		△ 99,500	△ 5.4%	△ 12,963	△ 0.7%	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!

平均のデータは「今日の私学財政 南関東平均」によっています。

グラフ1-1. 当校のデータ



グラフ1-2. 平均のデータ



(5)前年度の決算に対する監事の監査報告書

監　査　報　告　書

令和6年5月23日

学校法人　育　英　学　院
理　事　長　殿
理　事　会　御　中
評　議　員　会　御　中

学校法人　育　英　学　院

監事　前田崇史

監事　萱野正一

私たちは、私立学校法第３７条第３項に基づく監査報告を行うため、学校法人育英学院の寄附行為第１５条の規定に従い、学校法人育英学院の令和５年度（令和５年４月１日から令和６年３月３１日まで）の、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況について監査を行った。

私たちは監査にあたり、理事会及び評議員会に出席するほか、私たちが必要と認めた監査手続きを実施した。

監査の結果、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認める。

以上